

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(1-77)、MOX燃料加工施設(1-74))」

2. 日時：令和3年10月7日(木) 9時30分～11時50分
15時45分～17時40分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、中川上席安全審査官、大橋上席安全審査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、田尻主任安全審査官、上出安全審査官、大岡安全審査専門職、藤原安全審査官、高梨安全審査専門職、河原崎安全審査専門職、武田安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部付 部長 他26名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ
グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門
原燃計画グループリーダー

九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部
土木建築本部 原子力土木建築部長

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ 担当

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 専任部長代理 他1名

三菱重工業株式会社 原子力セグメント 安全高度化対策推進部
主幹プロジェクト統括 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和3年9月27日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和3年9月30日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和3年10月5日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和3年10月6日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	そうなって録音改正しましたフィックス排水通達ってできないといったタケダです。それではただいまからG原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:12	本日のヒアリングは例は 20 年 12 月に申請があった設工認申請について、3 ページ目までに提出があった補足説明資料及び審査会合塩淡オオハシを基にヒアリングを行うものになります。
0:00:27	規制庁側からの出席者ですが、本庁側がキシノハバサキそして遅れてからコサク調査官が出席の予定です。平年度からの参加がツガネカミデ、タケダA以上になります。
0:00:43	それでは日本原燃のほうから出席者の紹介と医大の構成と説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:54	はい。日本原燃の藤野です。日本原燃側の出席者ですが、まず事務局ですね、再処理のほうからナガサワフジノMOXのほうからタカマツ、タニグチアイシハラ
0:01:09	説明者として、フナコシサトウ、ウノミヤモト、ムラカミatガシ、ウラバヤシAイナズマAかみたいな、工藤オガセ
0:01:21	これハラダメキだとそれから九州電力の方から赤司さん本日参加いただいております。
0:01:28	あとはメーカーさんで大成建設の石黒さんと高橋さん、それから三菱重工の高見さん。
0:01:35	のサポートとして入っていただいております。
0:01:38	本日ですけれども、まず今回ヒアリング予定されてますけど午前の部は審査会合資料ですね、耐震関係の部分、耐震建物 23 の資料とあわせつつですね、説明させていただきたいと思います。
0:01:53	よろしければですね、あの会合資料の説明から入らせていただきます。
0:02:00	はい、規制庁のタケダですねと順番としては介護仕様の説明を受けてから耐震建物 23、そしてそのあと耐震地盤 0 時こういう順番でいっという理解でよろしいですか。
0:02:13	はい、その幾つか考えております。お願いいたします。
0:02:16	はい、オッケーですと、
0:02:19	それでは審査会合資料のほうから説明をお願いいたします。
0:02:25	はい、日本原燃イナズマです。これは窃盗効率の資料説明の資料を用いまして、前回のヒアリング以降、修正されたように中心に御説明させていただきます。
0:02:36	当初 3 ページ 4 ページになりますけれども、今回、これまで説明してきた建物関係耐震関係ですね、お宅の方で論点になっている有力地震動の部分でございます。

0:02:48	一つ目の内加工の参画の中に書いてるところがこれまでのH-旨の考え方を記載しているところがございます、今回申請してございます燃料加工建屋、また冷却塔をポウネットの入力時の算定におきまして、
0:03:05	このようなことを現在考えていて今後どのような説明をしようとしているのかというところを2パラ目3パラ目に記載するとなっております。
0:03:15	特に、まず燃料加工建屋のほうでございますけれども、この方は、これまで説明した。
0:03:22	はい。
0:03:22	これにつきましては、現在確認方法ですとか、その結果を補足説明資料で説明し、次回の審査会合で説明するというところで現在考えてございます。
0:03:34	また燃料棒加工すいません。安全冷却塔の防護ネットのほうにつきましては、今回液状化の際の入力地震動の評価にして最後の構造検討まで実施してございますので、そちらのほうについて今回精査御説明するというような制にしてございます。
0:03:53	実際具体的な中身につきましては、防護ネットのほうは目にありますので、2ポツに来ページ以降の方で修正査定につきまして御説明させていただきます。
0:04:04	6ページでございます。またの方には、これまでの状況のほうを記載してございます。ネットへのはっきり的影響を及ぼす施設やつばないということを確認するためでございますが、言葉見通しを得てございましたが、具体的な液状化の表は、
0:04:21	方法ですとか、入力地震動評価結果についてこれから御説明できるあったというところで、こちらのほうを整理して、今回の資料にまとめてございます。
0:04:31	続きまして7ページでございますけれども、他方、まだページが入ってないところがございますけれども、こちらは最終的に
0:04:38	前段ですすね、共通の資料が入ってきたと2ページのほうは設定した上で、
0:04:44	(1)から(1)から(4)のそれぞれの妥当性について、それぞれのパートで説明したいというふうに考えてございます。
0:04:54	8ページでございます。
0:04:56	8ページも、これまで説明したところ遠いと修正点というところでは特にですすね、最後の(4)のところでございますけれども、設工認申請書の系統作っ取り扱いというところで、今回のそれからこの波及的影響の
0:05:14	方針といいます。今はもちろん添付書に記載いたします。また来液状化の評価結果、また有効力解析の結果、これ双方ではっきり的影響ないことを確認するというところでございますので、それぞれの評価結果につきまして、
0:05:31	添付書類に記載するというところを記載してございます。

0:05:37	はい、すみません、9 ページにその実際の評価フローのほうを記載してご いますことのほう、前回までは非液状化の際の検討フローと液状化の際の検討 フローを少し甘かった形で一つので見えていたんですけども、
0:05:53	まずは今回は非液状汗申し訳ございません。気道カジノえよ結果をお示しす るところですので、9 ページには、液状化時の評価フローを記載してご います。適比液状化の検討フローにつきましては参考のほうで説明するという形 で整理してご います。
0:06:12	中身につきましては、これまでの説明内容とはそのフロー自体は変えてご いません。
0:06:19	10 ページにつきましては、ほとんどの方は資料の整理ということで修正して ご いますが、10 ページをお願いいたします。
0:06:30	こちらのほうでは、もともと同じ資料がございましたけれども、液状化の影響 因子のそれぞれの考え方につきましては、その分も参考のほうで説明するとい うこと でしまして、こちらでは解析モデル解析に用いる地震動どのように考える のかというところを整理していくですというところでご います。
0:06:50	すみません注 1 ページ以降に有効応力解析モデルの概要でご います。ほと んどほう前回ですねやっぱり 11 ページの特に右側ですね、もし口といいま すか、各断面の絵においてどのような物性を用いるのかというところは適切で はな かったのでこちらのほうを修正してご います。
0:07:09	特にですね、断面①の冷却塔の東側にご います分析建屋閉止建てで ご いますけれども、もともとは天体ちょっとモデル化すると、ちょっとモデルの範 囲が 広がってしまうということ踏まえて、
0:07:24	効率的にこちらの有効応力解析の断面を作成するという意味でここ建物として は、 つぼいですので、仮にですけれども、という抗力のモデルとしては、粒度場 所 でもモデル化して、
0:07:38	保守的な評価を行うということをこちらの米印のところ記載したところ ご います。
0:07:46	12 ページのほうは、これもちょっと文章としてですね、中期ページでは一つ 目 の矢羽でござ いますけれども、モデル化の範囲につきましては、II層単位のファ ンド幅 に対して、
0:08:02	それぞれ両側B以上の範囲をモデル化するということにつきましては、逆の 考 え方にもづいて初めてですか。モデル化をしているということで、また、
0:08:13	減衰ですね、こちらのほうは液位増加によりまして千葉なんかするとい う ことで、低振動数側にシフトするということをこの前まして、設定者戻りに 対 する厳正が初期減衰なくなると。
0:08:28	いうことを考えました剛性比例型の減衰を採用するといったことを記載 し てご います。
0:08:35	13 ページでござ います。

0:08:37	こちらのほうは、資料のほうの記載は修正送電線の参考のほうにですね、参考 5 として、もともとつけてございます
0:08:51	液状化強度試験代表性と網羅性ということで記載して多分事の方を少しですね、平成 32 ページになります。
0:09:06	こちらのほうに強度特性を記載してございましたけれども、埋め戻しと全体の絵を書いていたんですがその中で、今回対象とする。
0:09:19	冷却棟近傍のところのデータがどの辺りに相当するのかというところをばかりあるような形で、この参考資料のほうは修正してございます。
0:09:32	はい、すみませんまた資料のほう戻っていただきまして申し訳ございません。
0:09:38	14 ページになりますけれども、この方には今回の有効量解析で用いたパラメーター地盤のパラメーターですか、括弧構築物側、上部鉄骨架構フィックスのパラメーターを記載してございます。こちらのパラメーターで、
0:09:54	有効応力解析を行うということを示したものでございます。
0:10:00	すみませんちゅうのページになります。子供は検討用地震の選定ということで、前回もちょっとお話ししましたけれども、検討用地震の選定としましてはまず、
0:10:12	ておる解析液状化の際の検討としましては、まず
0:10:19	次に液状化での応答解析を用いまして、建物に手元には構築物に与える影響として大きいものを地震動を設定するということを考えてございます。それに加えまして、液状化した際には、
0:10:34	やはり鷹架層の下部から入ってきていく地震動また年度費の部分が液状化してそこでの
0:10:42	から入ってくるまで振動の影響、それぞれをやはり考慮しなくちゃいけないかなということを考えまして、有効応力解析によって一次元の 11 番まででございましてけれども、こちらのほうでの影響の大きいもの、
0:10:58	その二つですね、建物に与える影響、また地番化の影響それぞれで影響の大きいものを限定するというので、このほうの記載を修正してございます。
0:11:11	結果としては 14 ページに記載している形ですね、それぞれ生成静水島の地震動を選定しまして、有効応力解析を実施するという整理にしてございます。
0:11:28	やっぱり 17 ページでございましてけれども、こちらは、実際その結果として有効力解析によってその上端においてどのような時進路建物を目指したいということに対して、どのような入力になっているのかというのを取り出したものでございます。
0:11:44	もちろんございません。こちらのほうですね、注 7 ページの左、右側ですね、SSC 湾の落とせると話したものが所間違ってございますので、ほとんどホスト私も後程定数際には修正したいと思います。修正版の方すいません表示いただけますか。
0:12:09	はい。

0:12:12	むしろ、
0:12:15	全然違う右側ですよ。うんですと、
0:12:22	いや。
0:12:23	はい。
0:12:25	うん。
0:12:32	いうことで、
0:12:33	さて、
0:12:35	少々お待ちください。
0:12:44	うん。
0:12:46	まず、
0:12:48	はい。
0:12:49	フジワラですけども、
0:12:52	何か私どもも他社
0:12:58	福士でございます。
0:13:01	すいません規制庁カミデです。あまり時間がないのでも手短にお願いします。後程消せばにつきましては、確認させていただきます。続きまして、
0:13:15	18 ページでございます。
0:13:24	こちらにつきましては上部架構の妥当性ということで子供改めてですねと直下地盤また液状化におきまして、上部架構のモデルをその一次元でやっていたものが大きく濃度がわからないというところを記載した説明する資料でございます。
0:13:44	最後 18 で 9 ページでございますけれども、事の方には、前回途中まで計算値中途解析中と記載しているところがございますけれども、議長化の際の各評価部位におきまして各辺検定比を記載し、
0:14:00	建物が健全であり、冷却等への波及的影響がないということを確認さというところを整理してございます。
0:14:11	またそれぞれですね、あと各
0:14:14	パーツにおきましてと参考資料ということで、
0:14:18	20 ページ以降が出てございますが、もともとは大きく前回からの資料としては、修正はございません。ただ来液状化の検討につきまして並べて書いていたんですけども、今回は既存の評価結果を確認いただくということで、
0:14:35	非液状化の結果につきましては最後のページの
0:14:39	36 ページのほうでお示してるといったものになってございます。
0:14:44	こちら
0:14:48	介護資料の説明は以上でございます。
0:14:50	あと、

0:14:51	成宮です。次のちょっと補足させていただきたいと思います。先ほど示したPG M3 頁 14 ページ、あと 32 ページの液状化パラメータの設定につきましては、
0:15:06	最後の議題にありました地盤の支持フレームについての補足資料が非常に観光になってくるかと思うんで、そちらでもいろいろなですね、供試体せてもらうして参りたいと思いますよろしくをお願いします。
0:15:22	規制庁タケダです。はい、はいいます。
0:15:26	まさに本音でイナズマでございますが、先ほどちょっと表示ができなかった部分罪ができましたので御説明させていただきます。先ほど反射は 17 ページの応答スペクトルで基礎先端をつくってございますけれども、
0:15:41	節し版の結果につきまして、断面②ですね、黄色い音スペクトルでございますけれどもお出した資料ですと間違え誤ったものを掲載してしまっておりましたので、こちらのほうへ実際ですね、
0:15:56	新しいものとだめ①の北側南側断面②とも大きく等々すると変わることがないということを確認いたしましたことも修正した上で、審査会合資料としては提出して説明させていただきたいと考えてございます。以上でございます。
0:16:14	規制庁の竹ヶ原です。それではですねこの資料につきまして規制庁側からJS OXでしようます規制庁側からここにありましたらお願いいたします。
0:16:25	ですよ。
0:16:27	すみません。
0:16:29	はい。規制庁カミデです。まず前半のところ、入力地震動の算定ですけど、
0:16:39	追加されたのはこの 4 ページのところだけでこちらからお伝えしていたのは全体でどういう作業があって、今ここにいいのかというところを明確にして欲しいというところがあって、
0:16:56	ちょっとその内容はされてないと思っています。具体的にはですね、燃料加工建屋で、
0:17:04	今回直下地盤テーマやり直している状況なので、地盤モデルの設定から地震応答解析は入力地震動算定して建物の構造解析をさらには今回の申請がないんですけど、きっと。
0:17:24	影響かも今後控えてるってということで、そういうまず全体の流れをまず指名してござってその上で燃料加工建屋については、4 ページの真ん中ほどで記載があるように、また妥当性の検証をしなきゃいけないというところで、
0:17:42	ちょっと詰まっているんだと思いますから、今ここで
0:17:47	止まっていると。そこについての説明を 4 ページの右側の図表などしていくってことだと思しますので、その辺の状況をわかるようにしてください。
0:18:01	一方で、冷却空気等のもう別でフローを起こしていただいでですね。はい、基本的には

0:18:10	フローの絵としては燃料加工建屋とそう変わるものではないと思いますけど、やはり液状化の評価はウノてその分駆動には差が出るんだろうと思いますので、
0:18:21	今どこまで来てるのかっていうのは、燃料加工建屋については検討中のところで止まっているということだと思いますけど、やっぱり客等はそちらとしては、式終わったってということだと思いますんで、最後までできてます。
0:18:37	それについては4ページ、6ページ以降伝えに説明がありますという形で状況がわかるようにしていただきたいんですけど、こちらの意図は伝わっていましたでしょうか。
0:18:55	日本原燃イナズマでございますはい、
0:18:58	今御指摘のところ、理解いたしましたそれぞれPAとびあMOX側が再処理側それぞれでどのようなところで今検討中なのか、どこまで進んでるのかということとところを記載したものをまず冒頭で御説明するような形で資料を修正させていただきます。
0:19:18	はい。規制庁カミデですよろしく申し上げます。その上でこの4ページ目から3ページ目のタイトルなんですけど、
0:19:28	入力値進路スパン定に係る対応状況ということなんですけど、目的としては入力地震動算定ではあるものも前回の会合では、ここにあったのは、地震応答解析に用いる地盤モデルの設定及び最長OK
0:19:48	ということだったので、
0:19:50	作業パッケージは今回出てきてはいないとは思いますが、/地盤モデルの設定っていうキーワードをした上ですってね、
0:20:04	おっきなタイトルは地盤モデル設定っていうのがわかるようにして具体の小項目っていうんですかね、4ページ目で言うと2行目のところをこういうところは入力地震動算定っていうところで2とは思うんですけどちょっと体分を
0:20:21	今までと同じ話出ないような感じがするので、津浪の話っていうのをバリューと5日をもってたいというふうにしていきたいんですけど吉井でしょうか。
0:20:32	日本原燃イナズマです。はい。前回までの心配冒頭で説明した内容との連続性を踏まえまして表題についても確認して修正させていただきます。
0:20:48	よろしく申し上げますタイトルがそう変わって地盤モデルの設定って何か限定的な勘定するかもしれないですけど、あのフローの先ほどいらっしゃるフローの一番最初に設定としてはまず直下地盤モデルやり直していかんですフローを進めていますというような感じを書けばですね。
0:21:08	何となく繋がりが思ってるのかなというふうに思いますんで、そういった形で修正をお願いします。
0:21:25	はい。
0:21:27	規制庁カミデですかと4ページメールまで
0:21:32	ね。

0:21:33	そういう意味で私は以上です。規制庁側から見ますと、
0:21:52	特になって／6 ページ以降に進むと思います。
0:22:02	これまでの状況ってということなんですけれど、
0:22:08	最初の矢羽で
0:22:12	見通しを得たって言ってこれは、
0:22:15	今の時点の話ですから今回の会合の最新の状況ってということですね。
0:22:24	日本原電イナズマでございます。とことんのほう記載した意図としましては前回審査会合において、等倍そうでございますけれども、有効応力解析を実施する際にも申し上げたいられていたところを鋭意として記載してございました。
0:22:43	規制庁カミデですか
0:22:46	そうすると今最新の状況じゃなくて1ヶ月前にこんな説明をしましたよってということですか。
0:22:57	日本原燃いられます。一つ目の矢羽につきましてはその一つ目矢羽二つ目の矢羽法律では過去のような長の説明をしていたところを記載してございます。
0:23:11	規制庁、上出です。
0:23:14	そうすると3ポツ三つ目の矢羽後、
0:23:20	三つ目の4名もうバックにすることとしたので、これも国会じゃないですね。
0:23:30	日本でやって皆さんおっしゃると阿蘇そういった意味で言いますと、
0:23:34	それから一つ目から三つ目の矢羽が、これまでこれまでっていうのは、前回の審査会合まで説明書の内容で伊勢湾の三つの矢羽の括弧内括弧の中身が本日は説明内容となっております。
0:23:51	地方それだとですね、規制庁カミデですと数分それじゃあちょっとあれなので
0:23:57	この、この部分っていうか、前回会合で説明したのは、この部分ですけど、ちゃんと書き込んでわかるようにしてもらってその上で今回何をするかっていうところはありますねちょっと地点が曖昧なので、別個に復旧しています。
0:24:15	広めイナズマリスクもありました。そのように形で申請いたします。
0:24:23	はい規制庁上出です。次7ページ目に行きます。規制庁万能費等は
0:24:30	パッケージごとにコメント等あれば適用ポンてください。7ページ目はまだ途中みたいなんだろうと、Cですけど。
0:24:42	7ページに書いてある項目と
0:24:48	ロック上げ8ページ以降の
0:24:51	資料のタイトルバーってなくて、
0:24:55	繋がりがよくわからないので、
0:24:58	これはですね、7ページに合わせてもらってこうかわかりやすくなるんですかね資料としては、

0:25:08	日本原燃が出ます。はい。おっしゃる通り7ページのほうは目的的なところもございまして各8ページ以降のパーツに関しましても、7ページの赤いたり暴れの中に入っているタイトルと合わせたほうが面白いわかりがわかりやすいとかそれは当たり前なんですけども。
0:25:24	すみません、その対応で決まったので、各パーツのほうの回答でも整合する形で修正させていただきます。
0:25:35	はい。
0:25:37	はい、規制庁込みで紹介しました。そうすると8ページで全体の流れみたいなのところを今、
0:25:46	でもあれなのか、8ページもひもづいてんの低ってことですね。
0:25:52	はい／ひもづくようにしておいてください。
0:25:57	次に8ページで(2)人だけなんですけど、ページの緑の括弧一件は何か意味がわかりません。
0:26:09	2番目になります。こちらの方、今回の審査会合ですねメインといいますか、んでとなっている部分かと思って緑の枠を入れてございましたが、ちょっと先輩なぜ緑を書いているかっていう資料中に書いていなかったのをそこを明確に
0:26:24	今回の審査会も出て御説明するおっしゃる部分というところを記載させていただきたいと思います。
0:26:40	うん。規制庁パンビジネス名国庫にする。
0:26:45	明確ととりあえず販売できることを明確にしてもらって、
0:26:51	と思いますけど。
0:26:55	やっぱり申請書の取り扱いとかそれ以外の部分が説明事項になってないのかってというのが、
0:27:02	ちょっと有効な良いなと思うんで、きちんと確認して、要はこの部分ですっていう話を明確にするようにしてください。
0:27:13	日本原燃イナズマ酒井課長は本当にこの
0:27:16	今後とも必要があるかどうかということも含めて、こちらの8ページにつきましては、修正いたします。
0:27:27	はい規制庁上出です。この夫出しイトウしては、10、
0:27:36	11ページぐらいまでとこうと思いますけどよろしいですかね。
0:27:44	その間、特になければ11ページですね
0:27:51	注記の部分にですね、／サービスポート説明ありましたが、建家部分の流動化処理でモデル化するってということで、
0:28:03	ヨーロッパが保守的ですよという話なんですか。
0:28:08	要は私が滞ることによって周期特性に影響が出るような気もするんですけど、その辺り周期特性のところの観点からも保守的っていうのを確認されているんですかね。
0:28:37	日本原燃佐藤です。

0:28:40	ちょっとすいません、こちらでは一般的なちょっと書き方をしてしまったので、
0:28:47	固い建物をやわらかい流動化処理どうでモデル化した際の影響が本当に
0:28:57	目的なのかについては、ちょっと別途
0:29:03	簡単なモデル等できちっと検証した上で、お示したいと思いますが、これまでの のいろんな液状化の評価の中で、旺盛なるものが、
0:29:20	やっぱりものが有効にある搭載になってそれによって気象可能度合いがアー ム軽減されるという。
0:29:28	解析結果もありますのでちょっとここではこのような設定にしておりました。ちょ っともう少し分析ができるような評価を付け加えるよう考えたいと思います。
0:29:42	はい。規制庁カミデですから、今年っていうOKではないですけど、多分たい し、今の説明によると耐震建物 23 ても、そのあたり、あんまり丁寧に書いてな いってということだと思いますので補足説明資料でちゃんと説明できるように考 えており、いただければと思います。
0:30:04	日本原燃佐藤です。承知いたしました。
0:30:13	規制庁カミデです。ずっとこのあった方は
0:30:21	17 ページぐらいまで統合と思いますけど、規制庁側から何かありますと、
0:30:29	規制庁キシノです。ちょっと 12 ページ 13 ページ辺りで確認したいことが、
0:30:34	も、
0:30:35	まず 12 ページの一行面なんですけど、モデルサイズの話があって、
0:30:43	両側ハラダリ以上の範囲をモデル化領域とするということで、両側に理由を設 けるということはあるモデルの横方向の幅としては 3 倍、3B 以上ということを意 味してるのかなと思うんですが、
0:30:57	昨日提出された補足説明資料 23 ですね、この 214 ページでは 5 倍以上って 書いてあって、これって表現が違うだけで整合しているというふうにとらえてい いのか、どちらか記載のミスなのか、まずその点を確認させてください。
0:31:18	日本原燃イナズマです。まだ考え方としましては今ウノさんのおっしゃって いただいたように 3B 以上をおるということでございます。それでですね、建物 23 の ほうで帯状と改定等につきましては、ちょっと今お話したところも踏まえまして、 こちらのほうは適正化する形で、
0:31:37	後備余暇 3B 以上と書くのかということを含めまして、保険期間につきましては は、修正させていただきたいと考えてございます。
0:31:46	コサクです。今言われたのはあれですか 3B 以上とするので、実態としては 5 B 取ってるってということですか。
0:31:56	以上です。
0:31:58	日本原燃イナズマのような考えでモデルの設定をしてございます。
0:32:03	コサクですわかりました。その意図がちゃんと伝わるように御説明のほう直す っていう。
0:32:10	はい。今の趣旨を踏まえまして記載のほうは適正化させていただきます。

0:32:18	出席します。
0:32:20	それとですね。
0:32:22	ちょっと13ページ1行目について確認です、液状化対象層埋戻だとするというふうにまず冒頭で宣言されていて、ちょっと念のための確認ですが、敷地全体で見たとき表層地盤としては埋め戻しとその他に造成モリノ用ロッカー初層もあるわけですが、
0:32:41	ここで今回冷却塔等、
0:32:47	過去の評価をする上では、そういったどう表層ではなくって、埋戻しどうのみであるという理解でよろしいのでしょうか。他の表層の準夜、
0:33:00	ということです。期間もおっしゃる通りでございまして、冷却塔についてはウノの人が対象になります。その他にヶ所層造成モリノ、これは第2回以降にですね、液状化のパラメーターの設定をしますんで、こちらのほうで補足資料で説明したいと思います。
0:33:20	規制庁キシノです。はい、わかりました。当然そういう背景があつてこの宣言になってると思うんですけども今回の申請施設では埋戻し度層しか表層地盤として出てこないんで、戻しと相当するという旨がわかるような説明しておいていただけないでしょうか。
0:33:38	日本原燃のミヤモト。
0:33:40	承知いたしました。
0:33:43	はい。お願いいたします。
0:33:45	規制庁キシノです。あともう1点、14ページなんですけれども、
0:33:49	解析パラメータの設定ということでパラメーターの詳細な説明がここにあるんですけれども、
0:33:56	これは、このページで何か会合当日説明しようとしているのでしょうか。ちょっと詳細すぎるような印象があるので、特にここで何か説明を予定していないのであれば参考資料のほうにまわしてもいいのではないかなと思うんですが、その辺りいかがでしょうか。
0:34:14	日本原燃イナズマでございます。今ご指摘いただいた通り、おっしゃる通りこのパラメータそのものを御説明するものでございませんでこれを設定しているというところではございまして、そこは本文中ではなくて、参考のほうで引用する形で、そこに書いてあると。
0:34:31	いうところを本文に書いて場所のところを申請させていただきたいと考えてございます。以上です。
0:34:39	主蒸気注水はいわかりました。
0:34:42	17ページ前って私は以上になります。
0:34:49	規制庁カミデですか。
0:34:51	ちょっとキシノさんに確認になってしまいますけど、今10、
0:34:59	何ページとか、そうです。

0:35:04	4 ページを参考資料 2 ということでしたけど、逆に 32 ページみたいな情報を
0:35:12	14 ページの本文側に工芸したほうがいいみたいなどころってないですかね、問題ないなさそうです。
0:35:21	日本原燃のミヤモトですけど、ごめんなさい。
0:35:26	規制庁キシノです。
0:35:27	ちょ 32 ページのくだりで言ったほうがいいのかなど思ってたんですが、今のカミデからもお話のあった通りですね、32 ページ、おそらく 13 ページから繋がる説明資料になっているかと思しますので、
0:35:44	そっちラージありますので、むしろ本文側のほうに持ってきたほうがよいかなどと考えます。
0:35:54	その方向でご検討におけるかと思いますが、
0:35:58	モリノミヤモトです。承知いたしましたムラカミ三島キシノさんの会話で今年度に格上げするというので、承知いたしました。
0:36:12	はい。お願いいたします。はい。規制庁株定数それで 17 ページですけど、
0:36:23	まず 3 / プロットしてあるんですけど。
0:36:31	解析を 4 断面切ってたはずで、解析で切った面とこの三つの波の関係がちょっと有効ななかったんですけど教えていただきますと、
0:36:43	はい、2 番目のイナズマでございます。それと現在ですねという航路解析の終わっているのが NS 断面だけでございますので、その報告さえし停止というところでございます。あと一歩 EW 駄目につきましては、現在解析中でございます。
0:36:59	こちらのほうにつきましては、
0:37:02	NS 断面の方が鑑定方向で厳しいというような想定をしておりますので、EW 断面の結果につきましては補足説明書のほうに記載を今後記載の上の内容につきまして確認していただきたいということで、今回の審査会合資料では NS 断面の結果をお示しすることにしたと思います。
0:37:22	すべて冒頭で説明せずべきところをちょっと御説明まして申し訳ございませんでした。
0:37:30	規制庁カミデです。11、
0:37:34	ページを今見ている、A 断面① NS ためもあるし、端面① ダブルためっていうの名前でその名前がまず対応してなくて、今、プロットされてるのは、11 ページってところの断面かっていうのをまずして工数
0:37:56	はい、日本原燃イナズマです。まず断面①の規格と記載していますのが 11 ページ。
0:38:06	いいますと、
0:38:07	端面① NS と書いてございますが、このときですね、冷却等の防護ネットの方は北の蘇武南の基礎部がございますので、この断面①きたと。

0:38:22	入っているのが普通 1Pdますと、断面①JNESの北側の基礎部の応答ステップでございますが、同じように駄目①南と記載していたのが 11 ページで言いますと、断面①NSの
0:38:37	南側の気相部の青でございます。だめ②につきましては、11 ページで言いますと、駄目までに
0:38:46	の背景のNSと書いているここは一つの鉄塔でございますがその音を期待して、この三つの応答スペクトルを記載しているといったものでございます。
0:39:02	はい。規制庁カミデですまず内容はわかりましたけどあの凡例なり
0:39:08	言葉は統一的に指定を超えるようにまずしてください。
0:39:16	そうずっと日本がイナズマです。可視カメラの 17 ページのほうにも排気筒等をつける形ですね、この部分がピークなんですかね、この町をつけることで、部分の応答だということがちょっとある形で 17 ページだけで終わるような形で修正させていただきたいと思います。
0:39:35	規制庁ハバサキです。ちょっとすみません途中、今 17 ページで、各断面であまり変わりませんっていう話。これで一体何を言いたいんでしょうか。ちょっとアウトプットでの趣旨について説明をしてもらいたいんですけども。
0:39:50	大根変わらないと駄目によって変わらないっていう中なんですか。
0:39:54	いうところはないんですけども。
0:40:00	日本原燃イナズマでございます。まずこちらの後、今回、生産を使用して最後におきましては、入力地震等が液状化非液状化と何かウノかというところを説明したかったというところで、まずは、
0:40:17	ウワー盤での有効かつ基準における応答をお示ししたお示しするというものでございます。また、それぞれの①断面②断面で、冒頭断面位置によってマーカ一ないということをもってですね、
0:40:35	その解析の断面がこの二つを選んで、特に問題はなかったというところを、これ説明したというところで、この三つの応答スペクトルを抱えているというところでございます。
0:40:48	規制庁浜崎です。今まさにおっしゃった有効解析有効応力解析での入力動全応力とどう変わるのかわからないのか、そのためのこれアウトプットというふうに思うんですけども、それだったらば、
0:41:04	補足の 23 のほうにありますけれども、実際その比較をされているわけですから、そちらの結果のほうをこちらのほうで説明されるのが、
0:41:17	今 17 ページの趣旨としてですね、有効応力解析における入力地震動っていう趣旨に関してでは適切だというふうに考えるんですが、
0:41:27	その点はいかがでしょうか。
0:41:32	日本原燃矢島でございます。はい、誤信方 1 日開始しましたのでは立つほうでも説明した通り、ここではやはり、応力解析というのが必要かと思ひますの

	で、こちらの落とすピットの中に全応力の際の同じ場所での応答、こちらのほうを比較する形でお示しさせていただきたいと考えてございます。
0:41:52	規制庁ハバサキですね、その方向で修正のほうでお願いしたいんですが。あと細かい話ですけども、示せた結果を示すだけではなくて何らかの考察を記載してもらいたいというのと、あと減衰細かい話ですけど減衰が今 2%になってるんですけども。
0:42:09	これ基本は 5% 気相へのスペクトルが 5% かなというふうに思います。そこら辺もちょっと事業者として確認の上記者の方をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
0:42:21	はい、日本原燃イナズマですがしこまりました考察を記載するという点あと表示する際に、衛星が 0.2% の %NOVAK ともですね、これまでの説明をと整合する形で減衰のほうも確認した上で音すべての記載をさせていただきたいと思います。以上です。
0:42:41	日本原燃の原です。ちょっと補足いたします。併せてですね、建屋の固有周期のほうはこちらに今一時で 0.393 と表示してございますけれども、液状化のときにやはり固有周期シフトしますので、長周期側にシフトすると。
0:42:58	あと弱つつ拘束プレスの方もですねかなり非線形化領域になるとこういう周期シフトするっていうのはわかっておりますので、あそこも合わせてですね、ここで開設怖いと考えております。以上です。
0:43:14	聞いた方だけですわかりました補足説明のほうも建屋の一次が 0.393 になっているので、今の話も含めて種必要でしたら修正の上記者の方をお願いします。以上です。
0:43:26	はい、日本原燃からです。承知いたしました。
0:43:32	規制庁カミデですかの 17 ページの盤連携情報を追加っていうことでしたけど最初に言われてたようにまだ解析ほど途中段階っていうことね。
0:43:43	どうなので。その点もですね、ここで明確にするようにしてください 97 ページだけではなくて、19 ページの景観ところも、その話によるとまだ評価してない断面があるということなので、
0:44:01	まだ今後この部分をやらなきゃいけない。
0:44:05	今だったというの暫定の結果っていうことだと思うので、それがわかるように、
0:44:09	ということと、あと最初をお願いしたフロー図、ケースけどもそれも今どこまで終わってますっていうのを、について、全部終わってますよっていうことなんだと私は思ってたけど、おそらく
0:44:25	入力地震動の算定分とか結果以降については、一部の波しか終わってないっていう状況だと思うんでそのあたり、もう明るいちよっと明確にするようにしてください。
0:44:39	日本原燃イナズマです。はい。今残し踏まえまして、

0:44:44	どこまで解析が終わっているのかということにつきましては、最初のフローですとか、価格の結果のところ、この部分での結果なのか、また今後、残っているものというところが残っているのかということを確認にする形で資料を修正いたします。
0:45:07	はい。規制庁カミデです。次、18 ページに行けます系統、
0:45:16	はい。
0:45:17	まず
0:45:19	時刻歴が出てますけどこれとも波でやった結果なのかっていうのは明確にするようにしてください。
0:45:28	はい、日本原燃ハラダですが、有効応力解析の波でやったというのを明確にします。
0:45:38	規制庁カミデです。その中でも幾つかケースがあると思っているので明確職種ということと、あと耐震建物 23 で兆候有ります系統三次元的な応答性状バ
0:45:56	あるのかないのかって言う部分で、多分隅柱の変位量ですね、括弧、このとして同じように変更してますよう塑性域に入っても同じように変形してますっていうのは、
0:46:11	言葉と思うので、その情報を持つ一方できますか。
0:46:17	はい、日本原燃原です。はい、追加できます。準備してますので、追加したいと思います。
0:46:30	はい。規制庁カミデです。
0:46:32	後ですね 19 ページに表 5.5 が出てますけど、検定比の経営では、これに確定やっぱりあの発生値と許容値をちゃんと出してもらって、どういう単位でやるかっていうのもあるようにしてください。
0:46:51	日本語でイナズマ使いかしまりました 19 ページのほう、検定比だけではなくてもちょっと所設置も含めて範囲も含めて記載するようにいたします。
0:47:05	規制庁、上出です。あとですねちょっとチェック決定ページ番号の 171089 年の繋がりが 19 ページの結果行くまでがかなり唐突感はあるですね、例えば、
0:47:22	その基礎のコンター図、
0:47:25	鳥取とか、KN方向の変形が下流のもので、コンプレッサ出てますけど全体としてどうなのかみたいな情報あればと思いますが、それで何か追加できそうなものってありますか。
0:47:46	日本語でやってます。はい、そのコンターにつきましてはまだ
0:47:51	補足の 23 のほうにも記載してございますので、どのような応力状態かということはお示しできるかと思えます。
0:47:59	プレスのほうは、
0:48:00	ちょっとお待ちください。
0:48:04	はい。日本原燃ハラダ性とかをこうの変形ですね、

0:48:10	今 23 円ちょっとのほうをちょっと確認して使えそうなやつを、があればお示したいと思います。それから
0:48:20	31 ページの青、
0:48:23	川どうでしょこれ。
0:48:26	手段をかけて都合スピーディに入力してっていう話があるんですけども、てその結果として 19 ページに委託ということになるんですけども、
0:48:39	ここは本分かいかがでしょうか。
0:48:44	規制庁上出ですこれ。
0:48:47	これは何か立ち会う合成の。
0:48:50	話をしている。
0:48:52	受けないような基盤施設の考え方というよりも、
0:48:58	その結果のコンター図みたいなバーの 23 年の耐震建物 23 にはあると思いますけど、
0:49:06	何かクリティカルな応力のコンター図、
0:49:10	みたいなのがあった方が繋がりがいいかなというふうに思います。
0:49:16	日本原燃話、承知いたしました。コンタ図を載せたいと思います。以上です。
0:49:26	はい、規制庁カミデです。この辺、規制庁からまた何ほこういう情報あったほうがいいんじゃないかみたいなでこぼこします。
0:49:34	はい規制庁浜崎です。先ほど 17 ページで有効応力解析の入力、これ全応力との比較で記載されるということになったと思います。で、今回の弁というのは有効応力解析結果
0:49:49	なんで今アウトプットができないわけです。ですから 17 ページの後にですね、23 番の資料にはもありますけれども、代表的な地震動だけで結構ですから、ひずみの地盤の分布であったり、
0:50:06	ジャメきい水圧比の分布であったりですね一体今回の条件でこのネットマ周りのですね地盤がどういう状況け状態になっているのか、そういう説明が必要かと思います。
0:50:20	すなわち、有効応力解析結果のアウトプットとともにその説明を支店ライトを持っています。その上で先ほどらい話があった上部架構の話しに繋がるわけで、18 ページ以降ですね
0:50:36	アウトプットの追加になるわけです。今その有効応力解析の結果自体の追加っていうのは可能でしょうか。
0:50:50	日本原燃イナズマです。大成さんのほうに今の解析してございますしてもらってますので、資料のほうを準備できると確認したいんですけど、体制さんと今、江藤ハバサキさんから御指摘があった日地中のひずみですとか、過剰間隙水圧のことも、
0:51:08	準備できると考えてよろしいでしょうか。

0:51:11	大成建設の高橋です。承知しました。今のハバサキさんの意見を反映した形でですね、結果、それから説明に関しては準備しようと考えております。以上です。
0:51:26	きちゃうわけです。はい。結果、それとそれに対する考察ですね、を含めて、追加のほうをお願いしたいと思います。
0:51:34	その上で 1019 ページの最終的な結果についても先ほどカミデからあったような、もう少し丁寧な説明のほうをお願いいたします。
0:51:42	それと、ハバサキから以上です。
0:51:48	規制庁のキシノです。19 ページに関して別途点確認なんですけど、
0:51:54	液状化時の評価結果を一つの表にいただけてますけれども、液状化時の評価ってというのは、確か全 16 ケースやられてるんですかね、地震は、代表自身は 200 とバラつきプラマイ α と 4 断面ということで、
0:52:11	16 ケースやってると思いますが、この 19 ページの各検定比の値は評価指標ごとにこの 16 ケースの中から最大のものを引っ張ってきている。要は輻射もいろんなケースの結果がここに一つの表に集約されているというそういう理解でよかったですでしょうか。
0:52:33	日本語でイナズマです。はい。
0:52:36	こちらにつきましては御説明通り、現在、NS断面のマイナス α の結果、評価結果そこが終わっているという状況でございますので、こちらのほうの
0:52:50	結果を建設費をかけてるところでございます。ですので補助の方のような自身はどのような
0:52:58	急いでやった結果なのかというところはちょっと整理して、ただの方は明確になるように修正したいと思います。
0:53:07	規制庁キシノです。はい、理解できました。その方向で修正お願いしますそれで同じように、36 ページ、これは非液状化なので。また系設定とか、違うかもしれないんですが、こちらも同様にどういったケースから引っ張ってきた結果なのかというのも、
0:53:25	説明が可能かと思いますのでこちらの追記のほうも検討いただけますでしょうか。
0:53:32	日本原燃やつまで、36 ページの非液状化の検討結果につきましても、このような波だったのか、そのようなばらつきとかということも含めて、その係数が明確になるような形で修正いたします。
0:53:44	はい。お願いいたします。キシノ以上です。
0:53:53	規制庁、カミデってSへと 19 ページ以降の参考資料について私からは特にありませんけど、規制庁ぱんぱんとします。
0:54:08	既設のキシノです。
0:54:10	27 ページから 30 ページにかけて 4 断面のモデル図が載っています。見ますとモデル図は、各断面ごとに多少差異がありますけれども、説明。

0:54:25	ある1一文はあのどのページも共通ということで、これは参考資料ということで特段説明はないかと思うんですけども、これ断面ごとに1ページを割くような何か説明すべき内容がある。
0:54:39	のであれば、説明のほうもそれを明確にした説明にさせていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
0:54:48	日本原燃イナズマです。はい、言葉のほうおっしゃる通り説明が確率的低下をまた同じことが載っているの、それぞれでちょうど断面で特有で考慮したことの方、少し説明としてですね、内する形で読んでわかるような形で修正させていただきたいと思います。
0:55:08	規制庁キシノです。はい、わかりました。
0:55:11	あともう1点、先ほど、
0:55:14	話題に出た32ページなんですけれども、
0:55:17	ちょっとこれは本文について、格上げということになりましたけれども、32ページのこの表がですね、唐突感がありまして、ここで何を検討して何を説明したいのかというのが、
0:55:34	このままだとちょっとわからないと思います。
0:55:37	13ページからの繋がり
0:55:40	なんですけれども、この32ページに示しているような整理をした目的とか、N値とかで整理をしたいとかで結果どうなのっていう説明がなくてですねちょっと一般の方にも何も説明したのかわからないと思いますんで。
0:55:57	目的とか、
0:56:00	指標選定理由とか、結果をですね。
0:56:03	説明を追加していただきたいんですけども、いかがでしょうか。
0:56:10	日本原燃の宮本です。承知いたしました。今ちょっと考えているのはですね、多少唐突感があるんで、液状化に起因するか、再利用分含有率とかいうと分布とか無知とか、そういったところの辺りの
0:56:24	これを選んだっていうといった辺りの目的をですね、1分ちょっと加えたいと思います。
0:56:32	はい、規制庁、
0:56:34	目的と結果何がいえるのかということも含めてですね、説明のほうを追加をしていただきたいと思いますが、
0:56:43	結果のほうとしてはどういった説明になるか今の時点でわかって教えていただけますか。
0:56:50	結果としてはですね、液状化がしやすい砂を切って基本的に選んでいるといったところと、営業日についての比較のところなんですけれども、比較的N値のホーム、

0:57:07	低いものと同等なんですけど、低いものできてると、あとですね、あと追加でちょっと参考資料と追加しようと思ってるのは、液状化試験の結果を参考資料として追加しようと思っております。
0:57:23	例えばですね、後程ヒアリングでもあるかと思うんですけど、過剰間隙水圧がPdと1年ぐらい経っているものを整備の第0端子とかによって、課長完結型低下する液状化しても低下する傾向にある。
0:57:41	こととか、あと粘り強くさってという観点で、比較的液状化したとしてもですね。粘り強い一定結果で骨折方針したってところの辺りも参考でちょっと追加したいと思ってます。
0:57:59	規制庁のキシノです。今追加するとおっしゃったのがさっきの画面に一瞬表示された多分試験結果の
0:58:07	ページかと思えますけれども、今回、参考資料として追加するのは、
0:58:15	その1枚ということですか。他にも何か追加お考えです。先ほどちらっとちょっと用意されちゃったんですけど、それ1枚です。
0:58:27	はい。起こりました。それが参考資料として追加。
0:58:30	で、
0:58:34	説明内容に関連します。
0:59:06	うん。
0:59:08	規制庁カミデですタケダさんも進行してください。
0:59:13	規制庁タケダです。その規制庁側から参考で確認事項等ございますでしょうか。
0:59:23	よろしいでしょうか。それでは日本原燃のほうから審査会合平野修正方針についての説明と不可避情報の発言とあと資料の提出時期ですね、ちょっとこちらでもですね説明いただけるでしょうか。お願いします。
0:59:40	はい、日本原燃でございますが、かつやっぱそれ最初にですね等々のコメントございました全体フローの人イメージをちょっと作っておりましたので、その確認いただきたいと思いますが現状ですねこちらの冷却塔のほうをネットの方の二名でございますけれども、
0:59:57	コーポレイトの検討フローとしてはまた左側ですかね、やっぱり全応力のフローがあって、ちょっと茶色っぽいところ、こちらの方がこれまで説明したきた範囲というところ、また左側のフロー、右側のフローが液状化の
1:00:13	評価フローとなってございまして、こちらのほうで今回説明し、それをしているところ、また先ほど挿管した地震動によってはまだ書き終わってないところもありますので、ちょっとこの人追記する形で説明したい。こちらの方、所として追加したいと考えてございますけれども、
1:00:31	イメージとしてこれまであってるかということをまずちょっと確認させてください。
1:00:36	はい。
1:00:38	これ経ヶ岳規制庁紙定数エーツ。

1:00:45	ちょっとぱっと見、府西縁応力解析という非常に大きいと評価という最初のWAC5 これタイトルになっていて、これはフローボックスには間ないので、そこは言わば今後理由ます系統、
1:01:03	入力地震動算定、
1:01:07	より以下は対耐イメージがあっていった前カー
1:01:13	うんと解析法というの設定ってなってるんですけどその、多分、地盤のことなので、何の設定なのか用地版をやって
1:01:26	応答解析をしてそれから入力地震動ってことなので。そういう単回化を図るようなフローになればいいと思います。
1:01:39	日本原燃のイナズマを指摘ありがとうございます。ただいまの御指摘踏まえまして、こちらの再処理側のレートの方のフロー全体フローの中での説明、また目算がピーエイ側での検討のほうはほぼ作成しまして、所のほうに追記させていただきたいと思います。
1:02:01	コサクです。ちょっとカミデの言った趣旨と合ってるかどうかわかんないんですけど。
1:02:07	今日の資料の4ページ燃料加工建屋の最後に、次回審査会合で説明という部分があつてですね。
1:02:17	それからここで表されてなくていいのかっていうようなこと等、
1:02:22	なんですけど。
1:02:25	あとこの次回審査会合にて説明っていうのは、
1:02:30	いつぐらいのイメージで、
1:02:33	いるのか、その辺りの状況も聞かせいただければと思います。
1:02:38	日本原燃イナズマです。はい、また最初のご質問で、ZPA側のところは先ほどフローでは表せていないかというところに関しましては、先ほどちょっとお示しましたのは、六法をネットのほうのフローでございますので、Pa側のフローにつきましてはまた別途ですね。
1:02:55	同じような形で整理した上で、現状の入力地震動のところ以降のところでは検証しているというところがわかる形で修正させて提携と思います。
1:03:08	配管及び連動してございます。次回のウノ燃料加工建屋側のほうの審査会合としての今、御社のほうとしての今見積もり管でございますけども10月の末ぐらいですね、審査会合に載せているような形のところで、今、
1:03:25	来週ぐらいにですね補足説明資料関係の方を来週の週末になると思うんですけども、提示させていただきまして、実収以降にヒアリングその次の週にヒアリングのほうを実施させていただきまして、10月末み審査会合ができるような形のほうでの号車と。
1:03:43	市の住民の方進めていきたいなというふうに考えてございます。以上でございます。

1:03:48	規制庁コサクです。審査会合の時期は、その場所では確保できてないので、そちらからの資料提示がその単回までにできるということであることは認識をしました。
1:04:04	一方
1:04:07	何でこのタイミングでこういう話してるんだっていうのは、
1:04:11	どう思えばいいんですか。結局ス直接的に言うと、皆さんが見通しを得たというところでの検証内容が不十分だということだと私は思っているんですけど、そういう認識でいいんですかね。
1:04:29	来年度償還ます。その部分に関しましては前回のところで地盤モデルの設定といったところでお話している中の次のステップとして、この入力地震動のところでひずみが大きくなってっていったところでの保証しているところに関しましては、当社のほうの少し認識が甘かったというふうに思っております。
1:04:50	はい。規制庁コサクです。状況わかりましたそういったところがわかるように、資料作って提示いただければと思います。よろしくお願いします。
1:05:03	何を評価しております。
1:05:08	承知いたしました。
1:05:10	九州電力の赤司でございます。
1:05:12	すぐ横から区長さんで申し訳ございません。その冒頭のフローでお示する流れのところ、もしかしたらちょっとずれがあってちゃいけないので改めて先ほどカミデさんからご指摘あったところと、
1:05:25	これについての確認なんですけど、おそらくカミデさんがイメージされてるのは、まずは入力地震動の算定に至る過程、要は地震で地盤応答計算をと解析について、大きくはこれまで直下地盤だ何だ言ってた介護基盤から上がった。
1:05:45	この地震動の評価の過程と、特に今回、今、御社の問題になってるのは入力地震動に至る過程のタケとの間のインターフェースとしての冷却塔でしたら液状化の問題、MOX建屋でしたが、地盤が非線形化の問題、そこで今ちょっと比較
1:06:05	大きく食う地盤の計算の中の地盤モデルの問題は保護を5ヶ月でできたんだけど、入力地震動のインターフェースのところであつてちょっと引っかかっていて、入力地震動がまだちょっと確定できない状態でそういうようなそういうまず時一番ホット計算という中でも、
1:06:25	我々がわかるようなことを一つ示して、その次の塊として入力地震動が固まったら、その建家或いは構造物の上空加工の音の話があり来次回以降になりますけども、機器の流れがあると。
1:06:41	全体の流れとしてはそういうイメージをされてるのかなというふうに理解しております。今共有させていただいてる流れ、どちらかというと、液状化でありまし

	たらちよつと意識した公開の流れになってますので、むしろ全館へ大きなや地盤元請さん。
1:06:59	音解析の塊から建屋のを評価する方までで講習会への聞き取りの塊ざっくり言うとそういう大きな流れを示した上でその中でどこっていうことをお示するというふうなイメージでとる前ておりますけども、
1:07:16	これ関連 3 意味されているところと合ってますでしょうか。
1:07:22	規制庁紙ベース今圧損おっしゃっていただいたようなイメージで特に今のイメージは燃料化を建家のイメージですって、それが冷却塔に行くと、
1:07:37	ちっちゃ杯以上バーの部分が入力地震動の手前に保安ボックス会議そんなイメージです。
1:07:48	はい、九州電力の赤司でございます。所示さありがとうございます。ちょっと先ほどの現年サンタマリアって踏まえてちょっと心配になったもんですから、確認をさせていただきました次第です。ありがとうございました。
1:08:04	規制庁の古作です。今の赤井さんの
1:08:10	燃料加工建屋等竜巻飛来物防護ネットます両方睨んだ上での全体としての位置付けみたいな考え方整理いただいて、非常に私も理解が進みましたし、議論としてもわかりやすくなっていくんだらうなど。
1:08:28	いうふうに思いますので、それぞれフロー書くのかもしれませんが、今から下にまとめていただいたような考え方がわかるようにしていただいたらいいかなと思いました。ありがとうございます。
1:08:42	日本がイナズマです。はい、あの場所にそこでいただきましてありがとうございます。今のやりとりを踏まえまして、このフローにつきましてもちょっと大きいところをばっかりな形で修正をお示しできるような形で修正させていただきます。
1:08:59	はい。
1:09:03	はい。あと、規制庁上出ですけど、当飛来物防護ネットバーの進捗状況っていう意味なんですけど、先ほど解析ケースの話をしてい計 1016 ケースのうち 1 ケースしかまだ終わってないっていうそういう状況なんですかね。
1:09:26	日本原燃イナズマ功正確に申し上げますと、現在終わっているのは、
1:09:32	それぞれ精製SH湾のマイナスσです。日経数合わせませんねと確認します。
1:09:46	はい。
1:09:47	日本原燃ヤマダスケジュール、現在終わっているのは、燃料加工建屋マイナスσのカクタつてないんです。
1:09:56	はい。
1:09:58	4 ケースを多くする。
1:10:02	規制庁コサクですけど、結局、これも先ほど次回説明するといったところがどう進むのかと一緒に進捗としての状況をちゃんと説明いただきたいと。
1:10:18	いうところですね、残った係数の提示っていうのはいつになるんでしょうか。

1:10:38	日本原燃イナズマです。現在／サトウ 2 日程国家 I 工程について調整しているところがございますけれども、見直した後、確認して、はい。そんな本試験につきましては回答させていただきます。
1:10:57	はい、規制庁の成長を介護ではそういうところがポイントになると思っていてですね、前回会合で解析結果がいつまで示して補正するっていうふうに
1:11:10	そちらから言われているわけですから、それが予定通り進んでないように思っていて、それがなぜだとかっていうようなところがポイントだと思いますんで夜介護で説明できるようによろしくお願いします。
1:11:24	日本原電イナズマです。かしこまりました。どこまで終わっていて、何が残っているのかということと、いつまでにお示しするというのを踏まえて説明できる。
1:11:34	やはりいたします。
1:11:46	規制庁カミデです先ほど発言しようと思ってますけど、同じ
1:11:51	趣旨だったんで大丈夫です。
1:11:58	日本原燃にあります。すみません途中で止まってしまうかもしれませんが今回の当審査会別途ヒアリングにおきまして、審査会合資料における近い状況の発言は、双方ともなかったという認識でございます。本日いただいたコメントを踏まえまして、資料のほうを修正しまして、
1:12:15	資料としましてはその午前中にどう提出できる形で進めたいと考えてございます。以上でございます。
1:12:27	はい、規制庁の武田です。資料はその午前中ということなんですけど、ちょっとこちらも困るんですけど足の午前中はできるだけ早いうちに報告いただけるようお願いいたします。
1:12:40	日本原燃やってます。かしこまりました。
1:12:46	系統タケダですねとよろしければ次の補足説明資料耐震建物 20 万の確認に進みます。
1:12:54	こちらの資料につきまして原燃のほうから説明をお願いいたします。
1:12:59	はい。万点の方ですね、耐震建物 23R-6 になります。10 月の一般提出の資料で確認いただきたいと考えてます。こちらの資料はですね、
1:13:14	そこで三つ書いてございます。一つ側の直下地盤の低下の記載ですね、それが一つ。それから基礎の評価の注 1 通をしたということ、それから液状化の評価ですね、従前のウエストカードから有効応力解析を聞きたいと。
1:13:32	この 3 点が反映点になります。確認お願いします。
1:13:37	はい。
1:13:40	規制庁の武田です。それではこの資料につきまして規制庁側から確認ありましたらお願いいたします。
1:14:00	説明のキシノです。
1:14:02	今回追加された添付ブロック液状化関連でちょっとお聞きしたいんですが、

1:14:13		300
1:14:15	99 ページ。	
1:14:18	以降ですかね。解析係数の選定の説明が参考資料として、	
1:14:24	伸びるんですけども、	
1:14:26	314 ページまとめが書いてあって、	
1:14:31	全応力解析だとマイナス σ は定住構造解析だとプラス四、五万で。	
1:14:39	プライムしますっていう、	
1:14:42	またどんどん結果が書いてあるんですけど。	
1:14:46	フィルム状解析という抗力解析で応答が最大となる。	
1:14:53	ばらつきケースが異なった原因っていうのは何か確認、或いはの分析とかされてますでしょうか。	
1:15:01	もしありましたら教えてください。	
1:15:10	日本原燃佐藤です。	
1:15:13	すいません。ちょっと分析まで	
1:15:18	いついつるかって言うことはあるんですが	
1:15:25	マイナス今 $+\sigma$ の例えば受けした。	
1:15:31	313 ページの	
1:15:34	赤いを見ていただきたい場合、	
1:15:40	ほんのわずかなちよつと差が出ているということでちよつとここを、ここはうん。	
1:15:51	ですかね。	
1:15:53	その結果、基盤のばらつきが大きく影響したというような	
1:15:59	ここではなく、一番設定のちよつとした違いが、こういった評価の違いについてはってるという	
1:16:10	僕は言っているとあとは	
1:16:14	そもそも	
1:16:16	非液状化土の解析というのは、周りとかたい	
1:16:23	地盤を	
1:16:25	想定その等々、	
1:16:27	評価した時のもので、一方	
1:16:32	自由地盤における有効応力解析というのは、ある液状化の	
1:16:40	もう生じた地盤が入力地震動の電波状態がどういう特性を示すのかというふうな観点で見たものなので、両者の違いが明らかにこういう粒径出ていって、	
1:16:57	いるところまでちよつと分析まではいってませんが、長期化考えで	
1:17:04	この日結果のほうはとらまえておりました。	
1:17:11	規制庁のキシノです。はい、わかりました。	
1:17:15	もう、まだ分析という具体的な検討はされていないということなので、	
1:17:22	また今後何らかの分析を進んだら、御説明があるのかなと思いますけれども、	

1:17:30	全応力という抗力の違いがもし原因だとしたら、有効応力解析に用いる地震動選定能力。
1:17:42	結果を踏まえると、
1:17:44	結果も踏まえるっていうのが意味があるかな。
1:17:47	そういうところも、
1:17:49	思いますので。
1:17:51	引き続きちょっと分析等は進めていただいて、今回選定は、
1:18:01	妥当なのかっていうところ
1:18:05	検討させていただければと思います。
1:18:11	日本原燃佐藤です。
1:18:15	選定における、このてたの成因を仕方抵当持っているそういったものを加えて、検討用地震動を選定した妥当性について少し足腰とか、
1:18:31	ちょっと説明を入れるようにいたします。
1:18:34	以上です。
1:18:36	規制庁の基準です。はい。説明を加えるということと言うならだ。
1:18:42	ちょっと戻りますが 309 ページのほうで、この検討の概要が説明がありますけれども、
1:18:53	有効応力解析で確認する指標最大せん断ひずみ、最大加速度
1:18:59	どうしてそういう設定としたのかっていうのは、今の説明だとちょっと決め打ちになっているような感じになってますので、
1:19:07	それを選定した理由なんかもちょっと説明できるように、
1:19:12	うん。事務局聞いていただければと思います。
1:19:17	日本原燃佐藤です。承知いたしました。
1:19:22	はい。
1:19:23	規制庁のキシノです。
1:19:25	あと、少し細かいことですね、二、三確認したいんですけども、まずこの添付っていうのは、一応有効応力解析の説明資料ということなんですが、解析に用いるパラメーターの説明、液状化強度特性について何も説明がないんですけども、これはどうしてなのでしょう。
1:19:50	日本原燃イナズマです。はい、講師説明資料の中では後程説明受けるの基盤のほうの補足説明資料のほうで記載して説明ということを考えてございますので、その 23 の中では読み込みだけと、現在は考えているところで、
1:20:07	そのため、この説明書の中では記載してなかったというところがございます。数値の基準ですわかりました。ちょっと私見落としかもしれないんですが、呼び込みはどっかでされています。
1:20:21	日本原燃になってますけど明確に行くと記載していなかったところもございませので、法しかるべきところに、その共通側ホストの補足説明資料をしっかりと読み込む形で修正させていただきます。

1:20:35	設立ですはいわかりました。解析条件をやっぱり明確にする必要がありますので、呼び込みで構いませんけれども、この資料のどの部分を呼び込んでいるということは明確に記載をしていただくよう、
1:20:49	それとですね、241 ページ飛びますが、
1:20:58	ここでずっとばらつき係数の選定結果になってますけれども、有効力解析もマイナス α をとりますって書いてあるんですよ、これは誤記ということでしょうか。PowerPoint+ α となってたかと思うんですけども、
1:21:13	はい。
1:21:15	日本原燃山です。はい、ご指摘の通りこちらのほうも生じないと、震災も資料と補足説明書のほうちょっと整合しておらず、ましょございませんが言葉をプラス α につきましたも実施するということで修正いたします。こちらのほうはコピーでございます。
1:21:31	規制庁のキシノですということは 241 ページ以降に 142 ページ以降か解析結果はマイナス α の結果しか載せていなくて、+ α の結果が今後これに加わってくると。
1:21:44	今先ほど、2 ケースが 4 ケースからぐらいしかできてないということで、それ以外のケースも含めて、この 242 ページ以降の結果というのは今後大幅に変わり得るというそういう認識でよろしいんですよ。
1:21:57	のメールアドレス配係数を増えたことによりまして、結果につきましても追記する形で修正発生いただきます。
1:22:07	はい、規制庁に示すわかりました。
1:22:10	あと、
1:22:12	1 点、すみません、先ほど 309 ページ返して最大せん断ひずみランドなぜってということに関連したんですけど、309 ページでどう進め戻した層の下端で生じるためってあるんですが、これは確認。
1:22:28	して前ぱり線形すんなり確認して当町がここで出るということ
1:22:36	説明できるということでしょうか。
1:22:51	それとも、中長期的にすると一般的にそうだからって感覚で書かれているのか、その根拠をもってここに書かれているどちらなんでしょうかということです。
1:23:01	日本原燃、先ほどです。
1:23:05	ひずみのか倉庫の分布等ですね少しお示しするような形でです。そこところが読み取れるようなちょっとデータのほうの追加を考えたいと思います。
1:23:24	通知の秒です。はい、モリマツとそれは閉を確認したエビデンスがあるというご回答取り返しましたので、はい。また説明資料の修正の準備をお願いいたします。
1:23:36	規制庁のキシノ。
1:23:38	これは基準になります。

1:23:40	はい。
1:23:45	です。
1:23:47	規制庁届け出数そのものは規制庁側から確認事項はございますでしょうか。
1:23:54	非常にハバサキ、ちょっと内容について確認しますと133ページ以降です。
1:24:01	それで、今目的としては135ページにありますような一次元の適用性、
1:24:09	どっかもう一つの期待という様はですね、137ページから検討ケースということで、ここで何やってるかっていうと、一次元の波動論と二次元のFEMの入力動の比較をしています。
1:24:26	それで、138ページに地盤モデル、地盤定数出てまして、右側に二次元のモデルが出てます。今これ設計で基本ケースとして扱ってる時間っていうのは、
1:24:43	ここで言うと、一次元波動論の傾向と考えていいんですか。
1:24:52	日本原燃佐藤です。はい。おっしゃる通りでございます。ハバサキそうすると基本はこれ所線形解析の平均ということでよろしいわけですね。
1:25:07	はいその通りでございます。
1:25:10	規制庁ハバサキです。そうするとですね、138ページの表の注記にあるように、TMSL37名演技線については、ちょっと
1:25:23	改良地盤直下の物性値を採用しているということなんですけれども、今右側の図を見ると、表層部分って書いて公表すると直下の地盤が一応にあると。
1:25:36	体部分二次元だと改良地盤なっちゃいますけども、基本的にはちょっと地盤が一番物性が地表面まである。それは一次元のモデルというふうに解釈すればよろしいですか。
1:25:53	はい。
1:25:53	はい。そのような設定になっております。はい、規制庁わかりましたね二次元はその表層部分って書いてあるところがその直下の部分が上まで上がって、今これ、色が変わっているのかなと思いますけども、そういう物性値を使って理解しました。
1:26:08	その上で、本πやられたのは、140ページの基礎の基礎といいますか、台湾の周りをめどの条件にした結果を説明したっていうのは、
1:26:21	140ページ、その結果が143ページ以降ということなんですけども。
1:26:27	これかなり埋との影響が主体によってはできている結果になっております。
1:26:37	それで、この結果、結論的にはあまり影響ないみたいな話をされてるんですけども、162ページとかですねまとめのところにもそう書いてあるんですけども。
1:26:50	ちょっと先ほどの入力の話も関係するんですけども、今の一次元のモデル化、解析が適切
1:27:02	なものになるのんものと考え、
1:27:06	ているという、そういう結論ですかこれは、

1:27:14	運用減免サトウでございます。161 ページに億 660 ページ 161 ページのほうに、
1:27:25	シェーク等埋め戻しをどう考慮したFEMAAのちょっと応答比率の方を
1:27:35	出させていただいております。
1:27:41	うん。
1:27:46	表でなんか参考にマックスミニマムっていうふうに書いていて、そこには
1:27:53	最大 100 中例えば 100、160 ページの一番上の表を少し 3-6 の表を見てもらいますと、
1:28:05	最大で 100、
1:28:08	7.9%ってなっております。ただ、これは小さい地震のとき
1:28:16	も含めた上での
1:28:19	応答の比率になってまして実際設計で聞いている。例えば清掃のCワンで見ますと、シェークとFEMの比率は 0.2%程度を過ぎされたので、そういった意味で、
1:28:40	設計上では問題ないというふうにとらえておりました。
1:28:46	説明以上です。
1:28:49	規制庁ハバサキです。まず今おっしゃったその 160161 ページの表の比率、これ
1:28:57	分母が①であったり丸 2 であったりしてますけど、これ①が正解なんですよ ね。
1:29:06	はい。人間にサトウです。すいません
1:29:11	その趣旨をちょっとプレフィルタかもしれません、①が正区での
1:29:21	せん断力を発生しているせん断力、
1:29:25	という形で、二、三万はFEMう点のせん断力というふうに
1:29:33	買い取ります聞いてハバサキ付けませんけども、例えば 3-7 の果実の果分母がマルになったり③末端これ①ですよ。
1:29:45	すいません。ちょっとこれは動きになっております。あとそ敗訴だと思いますそれ、その上でなんですけど、ちょっと先ほど来た話、これネットなんで周期特性はあまり関係ない筒が破損ですけども。
1:30:04	それについてもですねちょっと取得制 143 とかですねスペクトル見るとケース 3 っていうのはかなりある周期体のところは負ける上で、今回の結論は導かれているっていうのが、
1:30:23	今ひとつ、この資料では伝わってきませんで、ちょっとサトウさん先ほどポートフォリオような話をですね、もう少しこれをしっかり考察なり、結論していただかないと。
1:30:35	ちょっとこれ入力動に対して一次元のSHAKEで今みたいな話になってきますしですね。

1:30:42	ちょっとそこら辺、最終的な結果を睨んだ上でですね、資料のほう、しっかりと作ってもらいたいかないというのが感想なんですけども。
1:30:52	それ一等一般だ絵と大丈夫でしょうか。いかがでしょうか。
1:30:59	日本原燃佐藤です。
1:31:03	はい。
1:31:05	施設の周期体で見ると、大丈夫ですが、他の周期体で見ると、ずれがあるという点も踏まえて、ちゃんと考察をして設計上問題ないというような
1:31:21	音がちゃんと読み取れるような記載のほうを追加させていただきたいと思います。以上です。
1:31:29	1 ハバサキです。はい。これネットですけれども当然本体のほうも、ちょっとこれ地盤条件変わってくるのかもしれませんがね。
1:31:37	そちらには周期特性は当然影響もあってくるわけですので、ちょっとこの資料見る限りでは
1:31:48	ちょっと不安要素は、
1:31:51	追加されちゃう。
1:31:53	タナカというのが印象ですのでですね、もう少し丁寧に内容について精査の上また説明のほうをお願いしたいと思います。
1:32:01	私のほうからは以上になります。
1:32:10	規制庁の武田です。私の1から1点だけ、ここ見せてもらいたいですけど、ページの183ページお願いします。
1:32:24	結果のところなんですけれど、一応カーを考慮した解析の結果平均規模が採用しないという結果が出ていると思うんですけど。
1:32:36	先ほどのフナコシのほうでもくい結果とした日記憶は採用しているという結果が出ていると。
1:32:45	それに加え、ちょうど考査の結果とかっていうのは、ほとんど変わらないか、むしろ
1:32:52	液状化は考慮がちょっと大きくなっているという結果ではあるんですけど、引き抜きがファイルしなくなった理由というのはどういうふうに考察されてるでしょうか。
1:33:05	日本原燃やめませんことのお尋ねにつきましては、耐専さんのほうですねえと見解あれば、ちょっとご発言をお願いいたします。
1:33:17	大成建設の高橋です。今の御質問の内容に合った引き抜き力の箇所なんですけれども、今、画面共有されているページで言うと、これは建家の
1:33:34	建家というか膀胱竜巻施設のすぐ直下の部分の引抜き力をターゲットとした内容でございます。
1:33:49	なので堀杭の中の全面的に

1:33:58	地表面から支持層までのナガサワがございまして、その中で発生している力となりますので、先ほどパワーポイントのほうで、審査会合用資料の記載がありまして、そちらの中で、引抜き力は生じていない。
1:34:17	そういうふうな記載がありました。そちらのほうは地盤改良どりの下の支持層との
1:34:28	浮き上がりの影響因子ということで評価していますので、クリーンセンターの支持層への接合部分における引抜き力が生じていない、そういうふうなことで、今このページとの
1:34:47	差異が出ております。要するにWetとしている杭の位置の違いがその際だということです。
1:34:55	以上です。
1:35:07	規制庁の掛川です。
1:35:13	はい。
1:35:14	どうぞ。
1:35:18	わかったようなわからないようなということですけど、説明いただいた内容としては理解はするんです。定例と。
1:35:28	それでは液状化を考慮した場合は、その杭の先端と地盤との接合面での引き抜きは生じないけれど、
1:35:37	電力の結果では生じる。
1:35:41	そういうのはそういう結果であるということは正しいですか。
1:35:46	大成建設の高橋です。ええとですね、すみません。そうではございません。まず、それとですね、説明が私のほうで足りなかったところがあったので、きちんと説明を加えさせてください。先ほどの
1:36:04	パワーポイントのほうに書いてある試験に引き抜き力なんですけども、上屋の部分です、
1:36:15	一つの福祉ダウンを失点系モデルとして評価しておりますので、建家の三次元的な意味合いからすると平均的な強化でしかございません。
1:36:30	で、今、この画面上に出ております。杭の引抜き力なんですけれども、平面的な杭の配置を考慮した形で
1:36:43	計算した結果を期待しております。ですので、
1:36:49	なんていうか、
1:36:52	建家が高回転するような協働した際に、建家のコーナー部における置いて引抜き力の大きな力が発生するんですけども、そのような形で1本1本の杭に対して最大のところ、
1:37:11	引っ張ってきた数字を今ここに記載しております。ですので、
1:37:19	で、さらに原因ますと、こちらの結果もですね、パワーポイントのほうに書いてある結果も有効応力解析の結果を用いた、いわゆる液状化状態の結果ということになります。

1:37:37	以上です。
1:37:45	規制庁もタケダです。
1:37:51	なぜ成長があるって今の説明で理解できましたか。
1:37:59	非正規ハバサキですちょっとハバサキも理解が不能です。
1:38:06	はい、お願いします。日本原燃佐藤です。申し訳ございますほう素ちゃんとウェイなんか複雑なことになっているようなので、ちょっとコピーした上で、ちょっと状況の方、
1:38:23	お伝えできるような形にしたいと思いますが、コサクです。ちょっとたけたさんにも聞きつつだんですけど、今のポイントは
1:38:36	液状化のところでの有効応力解析の結果だけの話ではなくて、
1:38:43	全応力解析という抗力解析それぞれあって、その差分がどういうふうになっているのか、それが妥当なものか、状況の理解をどうなってるかっていうことと思えばいいですかね。
1:38:58	かけか規制庁タケダです。はい、ご理解です。もう液状化解析でのチェッカーではですね引抜き力は書いていないと。
1:39:09	それで行って全応力の経過がスタートポイントですと参考のところ後ろについていたと思うんですけど、ここでは主力の引き抜き力両方書いているのでこちら引き抜き力も生じているんだと。
1:39:23	その上で、なんでこの差分が生じているんでしょうかという理解ですね、全体的に記帳が解析のほうが結果は大きくなっているのに、なぜ引き抜き力が作用しないんだよとか、そういった疑問でございます。
1:39:38	はい、古作です。問題意識は私も共有できました。先ほど説明は家多面的だけの話を一生懸命されたように私は聞こえていてですね、
1:39:53	その前にハバサキからもありましたけど、今回有効応力解析を一通りやっていると、全応力解析とどういう違いになっていて、
1:40:06	液状化をした場合にどういう状態になるんだという理解をしっかりと整理をするっていう内数に入るかなと思いますので、全体そういう意識を持って説明いただければと思います。
1:40:19	はい、日本原燃佐藤です。ご指摘の点を踏まえて、XIIについてちょっと
1:40:27	しっかりと分析できるような形にまとめていきたいと思います。
1:40:34	以上です。
1:40:38	帝人の武田です。はい、わかりましたらお願いいたします。タケダからは確認以上になります。その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:40:48	規制庁ハバサキなんですけど、先ほどのパワーポイントの資料 19 ページですね有効応力解析での検討結果がまとめられているんですけども。
1:40:57	値ってというのは、今回の 23 番の補足説明資料で数字を終えるというふうにご考慮よろしいですか。
1:41:08	はい。

1:41:09	日本原燃イナズマですはい。今回のSS精神はにおけるマイナスαのときの結果を、そこの方にも記載してございますので、その方は整合する形で現在記載してございます。ただ抜けてる部分につきましては今後、
1:41:26	ぜひしたいと考えてございます。規制庁ハマダ建設違うちなみにですね 19 ページの一番上の検定比 0.86 っていう数字なんですけども。
1:41:37	ちょっと私の自分見てみ切れてないんですけど、これは補足の何ページを見ればいいんでしょうか。
1:41:46	日本原燃な場所も確認いたします。そうします。
1:41:50	大成建設タカハシです。私のほうから回答してよろしければ売買ロジックのお願いいたします。
1:41:58	° ですね、
1:42:03	別添 6 の中のですね。
1:42:08	第 2 第 2-2 表に記載がございます。
1:42:18	何ページでしょうか。
1:42:21	171 万 272 ページになります。
1:42:28	272 ページに、0.86 があるんですか。
1:42:33	はい。どうですか。パンフレット今表の中のですね、一番右の欄の真ん中あたりなんですけれども、有効桁数はちょっと違うんですけども、0.87 という記載がございます。これが先ほどの数字と回答します。
1:42:52	しちゃうわけですよ。はい、理解しました後でイトウとことはですね。また先ほどの話とも繋がるんですけども、電力の場合と、クリティカルな部位は変わってる変わってないといけないですか。
1:43:09	当クリティカルなど、ごめんなさい。大成建設の高橋です。ええと最大値が発生している箇所は全くおんなじ 1 でした。以上です。規制庁ハバサキです。わかりました。ちょっとそういった点も含めてですね、比較という観点で、今後、考察のほうをお願いしたいと思います。私からは以上になります。
1:43:35	規制庁の武田です。／規制庁側から耐震建物 23 の確認がございましたでしょうか。
1:43:44	よろしければ原燃の方からこの資料についての修正方針とか兆候の発生がなかったかの確認をお願いいたします。
1:43:54	はい、日本原燃イナズマです。本日の説明にタケダでも 23 につきましても高い総合の発言につきましては層厚の方と認識してございます。
1:44:05	と修正につきましては、やっぱりいただきましたコメント特にあの分析関係ですね、結果に対します考察等を充実化圧力とで修正したいと思っております。また修正じきにでございますけれども先ほどの有効応力解析の残りの解析ケースのちょっと工程につきましては固体政権 3 名かかと調査。

1:44:26	その上で、回答活用できないと考えてございますので、ほとんどの方がまとまり次第、提出時期につきましては、今年度かせていただきたいと考えてございます。以上です。
1:44:40	はい、規制庁の武田です。ありがとうございます。
1:44:44	それでは次の資料の確認に選任する。
1:44:48	次の資料が最新地盤の 01 ですかね。
1:44:53	こちらの資料につきまして、下のほうから説明をお願いいたします。
1:45:01	4 弁が駆動です。本資料につきましては、たり、今、耐震 0401 として初めて提出するものでございますけれども、これまで共通の地盤の 0℃出て、
1:45:16	いただいておりますコメントを踏まえまして、補足説明資料として必要な抽出しております。ええと地盤の支持力度であったりだとか、あとは地震の 00 で注意してございます有効応力解析によって精緻
1:45:34	続きまして、核定数拡充したものでございます。また、旧建屋も極限支持力度につきましては 12 月に申請しました数値には後期ございましてそちらを見直しまして、正しく計算した数値に今回修正してお示してございますが、追加の説明は以上となります。
1:45:57	規制庁タケダです。ありがとうございます。それではこの辺につきまして規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
1:46:12	当規制
1:46:13	長上出です。
1:46:18	まず 3 ページ目なんですけど、NIPPOつつうの実際具体例 2 ポツの 1 パラ目。
1:46:28	の班で
1:46:31	事業変更許可申請書に記載されていた幾つページは、新たに設定すると書いてあるんですけど、これから具体がどうなってるか、要はこの不整地は、申請書通りです。これを新たにしていますというのが、
1:46:47	これ以降はあまり明確にされていないようなんですけどその点いかがですかこういうふうに記載してますんで、説明があれば、簡単ですが、
1:47:03	人間もプロセス、こちらにつきましては、と添付書類にですね、事務局可燃など一旦規制庁持てますだとかに記載されてるのはこうですというものをお示したいと思ってございます。以上です。
1:47:20	規制庁カミデですねと、今の御回答はテンプレに載ってますじゃなくてそういった整理をしたものを添付としてつけますって有効回答ですか。
1:47:33	そういう問題です。
1:47:38	後者のほうだと 1 回しましたのできちっと明確になるような失敗します。
1:47:46	あとですね。
1:47:52	4 ページなんですけど。
1:47:57	はい。

1:48:01	3 ポツのところ、
1:48:06	耐震建物をつくるハッチを読み込んでいた 13 を読み込んだり、4 ポツのほうに行くと、今度宣誓書及び込んだりしていくんですね、かけよう系の整理がよくわからないんですけど。
1:48:25	今、共通低下の地震 00 一番 00 応答学科でページさとして、こういうところを展開をどうするかっていうのを検討されていると思うんですけど。
1:48:41	今の、またその作業は来っちゃうなので、今バラバラに情報が載っているんだけど最終的には綺麗にするっていうことをお考えしているのかどうか認識をお聞かせください。
1:48:56	日本原燃の深山です。今まさしく患者さんがおっしゃってる通りで、今別紙 3 のほうの資料者として、どうしていくかっていうのをちょっと今悩んでおりました、最終的には同じような
1:49:12	ところから引っ張ってくるといった形で整理をしていきたいと思います。
1:49:22	はい、規制庁カミデさん。わかりました統制についてはまたさらに整理をされているということでお願いします。
1:49:30	あと同じく 4 ページの 4 ポツ 2 ポツ 1 の一番下のパラで本資料は、
1:49:41	第 1 回申請のってところの記載がちょっとこれだけでは何を言われているのか横になってですねあの舞台に考えていることをまず説明いただけますか。
1:49:53	日本にも見えるのですが、ちょっとこれ抽象的な文章になっちゃってますけど、第 1 項申請においては、読み冷却塔の基礎建物基礎が対象になるんで、名簿と指導だけを、先ほども審査会合の資料を示させてもらったんですけど。
1:50:13	第 2 回申請以降につきましては、6 ヶ所層とか、そういったものも液状化対象としてくできますんで、これらを踏まえて記載を充実してまいきますと言ったようなちょっと文章のほうをもうちょっとあえて具体的に確認をいたします。
1:50:34	はい、規制庁カミデさんの今言われた説明いただいたようなことを超えると思いますので
1:50:42	それぞれの項目に対して、
1:50:46	きちんと説明をいただければと思います。
1:50:49	私のほうからはぬこの資料始めてっていうところで多くのところだけを感じましたけど以上です。
1:51:01	規制庁タケダです。その他、この資料で規制庁側から確認ございますでしょうか。規制庁ハバサキです。ちょっと始めていると思うんで、ちょっと内容確認したいんですが、28 ページ MOX 燃料加工建屋の極限支持力度の説明がありますが、
1:51:21	この値っていうのは、建設時ですね。
1:51:27	建設時の値から変わっているんですか。
1:51:40	日本原燃の小野でございます。
1:51:43	ここで支持力につきましてはですね、建設時の試験結果から求めた黄色く地を

1:51:50	を載せているということでございます。
1:51:53	規制庁ハマダ建設ということは建設時から変わってないというふうに理解すればよろしいですね。
1:52:00	日本原燃の小野です。その通りだとでございます。
1:52:05	規制庁ハバサキですわかりましたあの後ですねこれ極限支持力度なわけなんですけど、昨年検出されている耐震計算書のほうを見ますと、長期と短期の地盤の許容支持力度まで徹底。
1:52:22	長期が 11.2 で短期 14.6 かな。
1:52:25	通常教育原子力等の 2 分で 3 分の 1 とか 3 分の 2 っていう設置だと思っんですけども、ちょっとそれとの対応はこちらわからなかったんですけども、その辺りちょっと説明をお願いしたいと思うんですけども、いかがでしょうか。
1:52:41	日本原燃の小野でございます。今の
1:52:44	お話というのは、杭基礎のことでよろしいのでしょうか。
1:52:49	規制庁ハバサキです。いや、杭基礎ではなくて、
1:52:53	直接基礎としての地盤側の
1:52:58	長期と短期の許容支持力度の話です。
1:53:04	を閉止順番につきましてははですね、系統以前はですね。
1:53:09	両方力のほうを用いてましたので、短期につきましては、共用支持力の 3 分の 2、長期につきましては強震記録の 3 分の 1 というふうなことでございましたが、現状ではですね終局耐力ですので、極限支持力、
1:53:27	そのまま用いるというふうな形になります。
1:53:31	来ちゃうわけです。ちょっともう 1 回、説明をお願いしたいんですけどもはいと極限支持力度と短期許容支持力度の関係っていうのはどう、どうなるんですか。
1:53:44	と極限支持力度の 3 分の 2 が短期支持力度ということになります。
1:53:50	先ほど申した 14.6 っていうのが、
1:53:54	3 分の 2 ではないように思うんですけども。
1:53:58	ちょっとその対応を今お手元にありますが
1:54:03	PA建屋の耐震計算書の中に余地として、
1:54:08	長期と短期の業支持力度っていうのが出て、先ほど申しましたように単協 14.6 という数字になってるんですけども。
1:54:23	日本原燃の増でございます。とですねPa1につきましてははですね、この通り 3 分の 13 分の 2 という今日資料極限支持力がですね許容支持力に変えるときにですね、荷重の方向によりまして係数がついてございます。
1:54:41	その経済によりましてですね、今言ったような 3 分の 1 とか 3 分の 1 とかっていうふうな各通知等はですね、若干異なったことになってございます。申し訳ございません。
1:54:51	期生タマザキです。そこら辺ですねしっかりちょっと説明の方をして参りたいというふうに思います。

1:54:59	あと 28 ページに出てますけれども、あれと各数値ですね、変数の数字が出てますけれども、これの出展についてもですねもう少し丁寧に説明をしてもらいたいと思います。よろしいでしょうか。
1:55:14	日本原燃の小野でございます承知いたしましたこの辺のところの数値のですね、バックデータといいますかそれも記載するようにいたします。
1:55:23	規制庁ハバサキですねと、もう 1 点、27 ページのほう冷却塔のほうもですね。極限支持力の算定においては、これは冷却塔を持った一定直管MMRなんですけども。
1:55:41	MMRとしての条件で、
1:55:44	極限支持力の計算されてるんですかこれは、
1:55:49	日本原燃の小野でございます。これはですね、MMRが直接岩盤に過剰伝えるということで、その支持地盤のですね、影響度、
1:55:59	特性から求めてございます。
1:56:01	規制庁ハバサキです。わかりました。その点についてもですね、記載のほう充実をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
1:56:09	日本原燃のほうでございます。承知いたしました。
1:56:13	規制庁ちゃうわけです。私からは以上になります。
1:56:18	生きざるを得て、
1:56:21	このタケダですね策定庁側のございましょうか、やっぱ
1:56:29	規制庁の値をですね。
1:56:33	ちょっと前半のほうに戻って申し訳ないんですけども、
1:56:37	確認を二、三させてください。まず 9 ページなんですけれども、
1:56:42	液状化強度試験の最終位置の代表性とかの説明となっているんですが、
1:56:49	以前のヒアリングでもちょっと確認してますけれども、埋戻として施工時期によって、材料や施工管理基準が変わっている。
1:56:59	理解していますが、それについて全く触れられていないんですけども、それを考慮しても今回の試料採取っていうのは妥当だったんですか。
1:57:10	試験結果に与える影響とかについて御説明閉を加えていただきたいんですが、そのあたりのちょっと見解をお聞かせしていただけませんか。
1:57:20	日本原燃の宮本です。
1:57:25	ページ数でいきますと、表の 4-2 の表上むしろ密度の力学特性に関する品質管理一覧で 1900、
1:57:35	99 年以前のものが根幹に試験で 0. 目が 0.7MPa程度 2000 年度以降は締固めについても検討中ということで、すみません今おっしゃってるわけじゃないですか。
1:57:49	4 ページ。
1:57:51	ほかのページになります。

1:57:56	ここに基づいて非管理試験を行ってます。期初さんおっしゃってるのは、これを分類、ところで、この辺の考察を変えて欲しいといったこと。
1:58:10	いや、キシノさんのお考えでしょうか。6 ページに、年度によって違いますよという説明はあるんですけど、9 ページ以降に書いている今回の試験箇所がこういう材料の違いを踏まえても、
1:58:28	適切なのか、いやそれ以前にこの今回の試験値ってのはこの 2 種類の材料が、おそらくまざっているかと思うんですけど、そのまずどういう状況になっていて、それを踏まえて今回試験位置としては妥当ですよ。
1:58:43	今回冷却塔のほうに使うとそれその結果を使っているわけですから、その適用性についてはどうかという説明がされるべきではないかということなんですが、募集していただけますか。
1:58:59	日本原燃の小野でございます。そのように 1999 年以前とですね。2000 年以降でですね、前からご指摘いただいておりますように、その領域を区分けいたしまして、試験結果等もですね
1:59:16	分けてですねその辺の説明をするように、現在の整理してございますのでそちらのほうでご報告させていただきたいと思います。
1:59:26	周知の基金債わかりました。まあ整理の方進めていただいて、今言ったようなことがね。
1:59:33	資料の中でちゃんと説明されるようお願いいたします。
1:59:38	あともう一つ別等 15 ページなんですけれども、
1:59:43	それで、液状化強度試験結果というのが 1 ページの文章で説明されていて、
1:59:50	ここで説明したい内容のエッセンスっていうのが、おそらく下から二つ目のパラグラフですかね、埋戻どので始める。
2:00:00	文章ではないかと思うんですけども、
2:00:04	先ほどパートの中でも説明がちょっとありましたけれども、おそらくここで言いたいのは、この敷地における埋戻度っていうのは、いわゆる完全に液状化ぐちゃぐちゃになっちゃうような土地じゃなくてある程度
2:00:18	多少なりとも抵抗性持ってますよっていうことは言いたいのかなというふうに
2:00:23	読み取れるんですが、埋戻しに係る敷地全体の液状化特性をここで説明するのであれば、いきなり
2:00:34	ここが敷地はこうですっていう結論だけを述べるのではなくて、
2:00:39	いわゆる液状化。
2:00:43	する値っていうのは、試験結果から、例えば、液状化とか、繰り返し軟化とかサイクリックモビリティだとか、そういった分類があるかと思えます。そういった概念とか、それぞれの特徴を説明した上で、
2:00:58	今回この資料例えば 39 ページ以降の試験結果とか 57 ページ以降には供試体の写真なんかありますけども、こういった儲から特徴的なパターン、二つ三

	つ取り出すなどして、今回の試験結果がどれに該当するのかっていうのをですね。
2:01:15	ちゃんと分析して、丁寧に説明した上で、このKIC結論に至るという説明が
2:01:23	あとは良いと思いますそういったプロセスを経ないでですね、ここは、
2:01:29	液状化に対して強い資料ですって結論だけを述べても、後ろのデータを見るとですね、私はちょっと首をひねっちゃうとかもあってこれ液状化じゃないのっていうねますので、そういった説明が必要かと思うんですが、それについては何らか準備とか検討はされているのでしょうか。
2:01:49	日本原燃の宮本です。キシノさんが今すぐ全部すべておっしゃってくれた通りでございまして、この大きな意味での液状化っていう意味ではとらえているのでその中にはサイクリックモビリティだったりとか、繰り返し軟化といったようなものにちょっと定義される御判断で、
2:02:08	ある論なんかの資料見ても、そういった経費をまず変えてこういう試験等に関してはこういうふうなものだ、こういうのって言ったところですね、補強した形でですね、整理のほうをさせていただきたいと思います。
2:02:28	村長のチームです。おそらく資料作成されるにあたっては、先行の発電どうなんかもかなりられていると思いますので、
2:02:37	そういったものを見ているおそらくこういう説明のプロセスって必要じゃないかなっていうふうにする気づかれるかと思しますので、そこは端折らないですね、きちんとそちらの出張した内容が伝わるように、論理展開がちゃんと考えた上で資料を
2:02:53	作っていただきたいと思しますので、引き続きその対応のほうお願いしたいと思します。
2:03:00	日本原燃の宮尾です。承知いたしました。
2:03:04	はい。あと、規制庁のキシノです。
2:03:06	あと少し細かいことは、二、三といいますけど、まず 14 ページで試験の方法の説明がありますけれども、
2:03:17	供試体のサンプリング方法と供試体の作成方法
2:03:22	供試体ごとの試験条件試験結果と、これはもう潜航なんかを参考にされると説明されているかと思うんですが、そこら辺は説明は、
2:03:34	しないのでしょうか。
2:03:38	msされ供試体の作成は取り組む 3 裏
2:03:46	トリプルチェックサンプルでとっておりましてその辺の業者の作成関係も
2:03:51	条件として、
2:03:53	これさせていただきます。
2:03:57	はい。インドいたします。一言も書いてないので、現地から見いださない状態で現地の資料そのまま的と使わせてもう完全に出しているという試験局とか、それ

	によって指定許可と全然違いますので、そこはちゃんと説明をしておかないと試験結果の信頼性に疑念を持たれることになるかと思います。
2:04:17	そこできちんと説明のほうをお願いします。
2:04:21	日本原燃の宮本です。承知いたしました。
2:04:24	はい。
2:04:25	そうですね、ちょっと飛びまして 34 ページからそれぞれの試料採取した資料の状態とか柱状図が載ってますけれども、
2:04:36	十条通を示すだけではなくて、この中央異常図のどの深度から試料をとったのかというの、わかるようにしていただきたい。それとここが写真なんか持ってますけど、
2:04:53	それはどこですよっていうところまで、本来示すべきだと思いますので、別途そういった説明の追加をお願いしたいんですが、よろしいでしょうか。
2:05:05	日本原燃の宮沢です。写真のほうの 2 ですね、そこら辺の数値をちょっと記載し、指針のどっからどこまでの深度たつていったところを記載したいと思います。
2:05:16	はい、規制庁の内野です。柱状図でもですね、できまじり砂からとったのか、ソリューションの囲ったのかといったことも当然情報としては、大事なものかと思えますので、そちらでもわかるようにしていただければと思います。
2:05:31	可能であればですね、各地点の断面図です。
2:05:35	メール柱状図とは別に施設の位置関係を示した断面図があれば、そのまじりかと思えますので、それも追加可能性もあわせて御検討いただけますでしょうか。
2:05:47	日本原燃の宮本です。承知いたしました。
2:05:51	町長のキシノです。あと 1 点になりますが、39 ページと 40 ページなんですが、
2:05:59	これだけ 41 ページ以降と同じ図が載っていないのはなぜなのでしょう。何か試験の都合上、契約で得られていないデータがあるのでしょうか。
2:06:14	具体的に言いますと 41 ページでいきますと、単点五つの図が 2 試験分並んでます未資料本並んでますけど、上の二つの図に対応するものが 39 ページ、40 ページ
2:06:29	前にですね。
2:06:31	それは当然同じ方法でやった試験結果であるとするべきだと思うんですけども、いかがでしょう。
2:06:40	日本原燃の三浦です。ちょっともう一度データのほうですねちょっと確認して、本当にあるのかないのかっていうことも含めてちょっと確認させてください。
2:06:50	はい。
2:06:51	あると思いますけど。
2:06:52	はい、確認して適正化をお願いいたします。
2:06:56	うちの海上になります。
2:07:03	規制庁タケダです。その他は規制庁側から確認ございますでしょうか。

2:07:11	ちょっと私からもう1点確認があるんですけど。
2:07:15	28 ページのですね、MOXの極限支持力度なんですけど、
2:07:22	33.8MPaとあるんですけど、耐震建物 08 補足資料に記載があるのは、38.8MPaだったと思うんですけど。
2:07:36	これは不整合でしょうか。
2:07:40	原電の工藤と申しますと、こちらにつきましては、サブチェン先天 8 年度が正しくてですね、次の 18.8 の動きとなります。申し訳ございません。最初に、
2:07:53	タケダです。わかりました。それでは、そこは修正をお願いいたします。
2:08:00	それでもう1点なんですけど、次のページの 29 ページ目に岩盤支持力試験経過があるんですけど。
2:08:09	評価二つあるんですけど、この最大化
2:08:13	ある種っていうものが極限支持力度に渡るものと理解してよろしいですか。
2:08:25	日本原燃の宇野でございます。これ事業許可書のほうにですね示させております。いやいただきました最大荷重でございますが、2012 年にですねこの辺の試験方法が変わりまして、
2:08:40	若干この最大荷重とですね、極限支持力というの数値が変わってきてございます。ただ先行のですね 3 サイトさんでは、この最大荷重＝極限支持力というふうなことにされてるようでございます。
2:08:58	Hータケダが来わかりましたのでにしてもここで記載されている最大荷重と極限支持力は大体同じような値であるということは、それは間違いないですか。
2:09:12	こちらのほうで日本原燃のものでございます。こちらで示させていただいてるのはですね事業許可変更。
2:09:20	申請書の数値でございまして、ここで書いてございます。最大荷重とですね、今の比較をいたします。設工認のほうでですね比較をいたします極限支持力というのは、
2:09:35	極限支持力式のほうに基づいておりますので数字的には異なるものというふうに多分異なるものでございます。
2:09:43	じゃうのタケダですか。はいは理解いたしました。
2:09:47	そのときに、28 ページ目で極限支持力式で節原子力をだしておられてでそれが 33.8 となっていくと、それに対して 29 ページ目の最大荷重が平均は 10.4 だったりなんてもうだったりということで 3 倍ぐらい差があるわけなんですけど。
2:10:07	このサーバーどう捉えればよろしいんでしょうか。
2:10:13	極限支持を日本原燃の小野でございます。28 ページのほうでですね算出しております極限支持力式でございますが、これこのMOXの応募して支持力試験がですねの
2:10:29	人強度特性がですね、CIGMAデータがあるという放物線近似のですね、低圧部の値を使っております、ある程度そのちょっとφが立ったような形になって

	ございますので、このような差が出てるのではないかというふうに考えております。
2:10:50	規制庁竹
2:10:52	そうですね。オファー言い方低レベルな内部摩擦角が非常に大きい結果が試験結果として出ているということですか。
2:11:00	じゃあ、
2:11:02	日本原燃の宇野でございます。すっぱい頑張ったということはそういう、そういうことでございます。
2:11:10	成長武田です。はい、そこは理解しました。試験結果でそういった大きい数字が出ていて極限支持力にあつてやめた結果、33.8 という結果が出たということなんですけど。
2:11:24	いずれにもちよっと3倍1社が
2:11:28	あるというのはちよっとどうなのかなというふうにも思うんですけど。
2:11:34	この主力岩盤支持力試験の結果を見た絵を見比べても33.8MPa、
2:11:43	というし極限支持力度を適用することで問題ないんでしょうか。
2:11:55	試験結果から得られておりますので、
2:11:59	問題ないといえますか妥当であるというふうにお答えするしかないかなと思っておりますが、
2:12:06	はい。
2:12:07	説明のキシノです。ちよっと横から入って申し訳ありません。試験結果だからそうだっていう説明しかないんですけども、試験を実施した位置振動Aの代表性とかです。それとその試験方法の妥当性といった観点でこの辺りっていうのは、
2:12:27	そのまま採用していいのか、ちよっと留意が必要なのかそういった観点での御説明っていうのはないんでしょうか。
2:12:37	日本原燃の宇野でございます。
2:12:39	こちらにつきましてはですね、来基礎底板のブロックサンプリングからカーとりました。岩石試験を用いておりますので、1なものとしてはジャストポイントということで正しいのかというふうに認識しております。
2:12:54	施設のキシノです。人に岩盤検査とかです。ね底盤下の岩盤の状況などを見ますと、全体一様な岩盤というのはそうそうなくて、場所によっては当然強度っていうことは異なってくるのかなっていうような
2:13:09	状況も現場によってはあり得ると思うんですが、そういったことも踏まえて代表性のある位置で今回は採集していると、そういう御説明と理解してよろしいんでしょうか。
2:13:24	日本原燃の小野でございます。実際に岩盤検査をするときにはですね、大体同じ硬さのものでこちらで言うと永久といいますかkA

2:13:36	それから指定内ですね健岩部でやってございますので、その代表値としてとっておりますので、妥当ではないかというふうに考えております。
2:13:45	成長の基準です。わかりました。あともう一つはですね、ちょっとタケダからも、或いはハバサキからもこういった指摘をしているっていうのは、すいませんちょっと私席を外してハバサキからもうすでに出てくるかもしれないんですが、この種の岩盤、
2:14:02	VSとかの数値から見るとこの数字ってちょっと高いよねっていう感触を持っているかと思えますんで、深度方向に行ったときにはならしたときにはそんなに強くないですね、表層だけで見るとその高目に出てる。
2:14:18	ていうことがあるんじゃないかという懸念もあるんですけど、資料とる深さとして、表層だけでいいのか、深さ方向のその影響範囲なんかも踏まえて、その辺りはどうなのかっていう点はどのようにお考えなんでしょうか。
2:14:38	日本原燃の小野でございます。深さ方向にといいますか実際にはですね建家の応答直下で支持力の場合ですと6急行ができますので、深くなりますその応力球根から始め外れますので、
2:14:54	地下直上もですねちょっと強度特性をとっていけば、それでよいのかというふうには思い、思われます。
2:15:02	節のキシノですけど。そうですねそこら辺はちょっと私も各基準類を網羅してるわけじゃないので、自信がないところですが、そういったの深度方向への影響範囲を踏まえてもサンプリング位置としてはやっぱり表層で構わないというふうに
2:15:20	まず規格基準類ではなっているとそう理解してよろしいでしょうか。
2:15:26	日本原燃の宇野でございますちょっと基準のほうにですねそういうふうにご書いてあるかどうかですね、確認してございませませんが、今まで極限支持力度からですね岩石試験からですね極限支持力指揮を出すときには、
2:15:43	基礎底盤もですねサンプリングをしてブロックサンプリングをしてそのブロックサンプリングの結果から、支持力度を出してるという不可能いう流れに乗ってございまして、
2:15:56	基準類のほうはちょっと確認はしてませんがそういうふうな試験方法で実施してございます。
2:16:04	設備の基準です。はい。今の御説明は一般的にそうしているかなという御説明と理解しました。私も理解の範囲ではそういうやり方が一般的だろうなとは思いつつもですね、このような質問がタケダからも出ている背景というのは、
2:16:20	許可のときに指示された提示された値とワンオーダー違っている数字が今回出てきてて、その妥当性についての説明がほとんどない、単に試験結果にのっとりましてというだけの説明しかありませんので、

2:16:37	本当にこの与えて信頼しているというところからの出発しているところかと思えます。ですので、今ちょっとやりとりをさせて確認させていただいた資料採取位置とか、深度方向の位置とか、ウノ試験の方法ですとか、
2:16:53	それでは根拠になる使って準備ですとか、そういったものをすべて照らし合わせて今回の試験結果に基づく極限支持力度が妥当であるという説明を補強するべきではないかと思うんですが、いかがでしょうか。
2:17:14	日本原燃の小野でございます。今おっしゃられる通りだと思われませんが妥当であるかというところまでちょっと説明できるかどうかですね、これからちょっとデータをまとめさせてデータという基準類をですね。見させていただいてまたご検討させていただきたいと思えます。
2:17:34	規制庁のキシノです。わかりました。許可のときは多分エリアごとに代表値を設定している関係で、そのエリアの中で、まあ保守的なところを選んでもというような経緯もあるのかもしれないので、許可のときのその選定の考え方と合わせてですね、この説明の補強の検討のほうをお願いいたします。
2:17:53	当期しろから異常ですとか 3 割おりてすいません。続きありましたらお願いします。
2:17:59	規制庁タケダです。人策ありがとうございます。
2:18:02	今説明いただいた内容ですべてかと思えますので、私からは追加の確認とかございません。
2:18:11	その他規制庁側からこの資料で確認ございますでしょうか。
2:18:18	よろしいでしょうか。
2:18:20	よろしければ日本原燃のほうから、この資料についての修正方針と重複解消法がなかったかも確認をお願いいたします。
2:18:30	社長の権限も覆土ですと、まず、この資料につきまして、非開示条項がございませんでした。それは後から続きまして修正ですけれども、こちらにつきまして修正ですけれども、松井お金ですね。
2:18:47	資料に単身建物 08 とか 13 だとかを見るとところ応答につきましてはずね、別紙の 3 の経緯等も踏まえまして、適切な書き方にしたいと思っております。また第 2 回申請ですね、退会申請はどうだとどれだと。
2:19:06	第 2 回申請まだまだできることはちょっと説明、こちらは具体的にどれがどうなのかというところは、具体的に書きたいと思っております。
2:19:14	あと、遠い液状化特性のところでございますけれども、ええと品質管理につきましては、問題が多分品質管理委員の仕方が変わってますので、そのように 2 種類、今設定されているか、妥当性の説明を追加させていただきたいと思えます。
2:19:34	また 15 ページ激動化するしないような結論につきましては、もう少し分析を加えまして、結論チェックプロセスを整理したいと思っております。また、最後イトウ拠点支持力度

2:19:50	につきましては、パラメーターですねパラメータの設定について、それぞれ根拠計数の公共お示ししたいと思います。またアサガミに御指摘いただきました。試験広報遅刻原子力でもですね許可とのケースバイパスする場合、
2:20:08	違うといったところの妥当性につきましては、だけど攻めるの振動応答であったり、認知後を基準と照らし合わせまして、根拠妥当性を説明したいと思っております。以上です。
2:20:26	はい、成長のタケダです。ありがとうございます。
2:20:31	それでは、本日、確認を予定していた資料は以上となります。
2:20:36	規制庁側から全体を通して何かございますでしょうか。
2:20:46	特にないでしょうか。
2:20:49	日本原燃から何かございますでしょうか。
2:20:56	日本原燃のフジノです特に日本原燃側はございません。
2:21:01	実機規制庁タケダです。わかりました。それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきますと、やっぱり様でした。
2:21:10	ありがとうございました。
2:21:12	ありがとうございました。
0:00:05	徴するですと、それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:12	お世話ヒアリングは電話 2 年 12 月 24 日に申請があった設工認申請について資料をもとに、ヒアリングにおいて事実確認を行うものになります。
0:00:22	まずは規制庁側の出席者の紹介しますが、本町会議室から等コサクカワラサキ
0:00:31	同と他WEBからナカガワカミデ、オオオカタカナシ、フジワラば、
0:00:40	タジリオオハシ
0:00:45	それ水以上になります。
0:00:49	それでは日本原燃のほうから出席者の紹介と本日の議題な構成と説明をお願いします。
0:00:57	2 番目のフジノです。日本原燃側の出席者ですが、事務局としてナガサワタカハシ、フジノシミズ久保田目標からタニグチイシハラ朝も
0:01:13	答え関係の本日の外部衝撃関係の説明者ですね、エビナサカモリフルカワ佐々木安保、奥野市だわ。
0:01:24	以上の日本原燃側の出席者となります。今日ですね、今後の分の説明資料ですけれども、まず冒頭ですね、外部衝撃に係る別紙 1 支店こないだのいただいた指摘事項への対応方針説明させていただいて、それに基づいて修正した。
0:01:40	外部衝撃の中津町関係の 0 シリーズの資料の説明に入りたいというふうに今考えております。
0:01:47	よろしければですね、外部衝撃に係る対応の基本方針ですかね、対応方針について説明させていただきます。

0:01:56	日本原燃西原でございます。それでは、9月27日に改定値として出させていただきました。外部衝撃に係る別紙1の指摘事項等への対応方針というについてご説明をさせていただきます。
0:02:11	中身全部ではなくて、ポイントだけを絞って御説明をさせていただきます。
0:02:18	前回記載内容統一ということでこのVI会計0の資料出したときですね外部職員それぞれのパーツ分解してメッシュをそれぞれに記載内容の統一を図っておったんですが、
0:02:34	非常にパッチワーク的なものもありましたので外部衝撃全体に対して早期再構成であることも含めて、統一を図るということでいま一度整理をさせていただきました。そのポイントとしては矢羽書いた通りです。ほな戻した重大事故対処設備の
0:02:53	いや、対象設備に含むというふうに成形するといったものが一体何を設計として約束するのかということを確認にすることであったりとか、構成の中でのそれぞれの記載事項が横並びを図れてない部分を統一的な考え方で整理をさせていただきます。
0:03:11	あと、保安規定に対応にすることにつきましては、単純に集めるだけではなくてこれは防護措置との組み合わせというのを切る損なわない運用上の措置になりますので、そういったことの位置付けも踏まえた上での記載の仕方というのを整理をさせていただきました。
0:03:31	細かい内容につきましては、添付1ということで3ページ以降のパワーポイントになります。こちらについては後程やります。全体としてまずへお手紙のほうを展開をさせていただきます。2番目としては規格基準の記載が使える、こちらについては前回ご説明をし、
0:03:51	ご指摘等々を踏まえた上での最終性というものを一部やっております。
0:03:57	Guideには使い3ポツ、2ページ目でございますが、こちらについては、引用の仕方について整理をしたものを記載してございます。1部、資料出した以降にフォローの記載についてもですね、指摘をいただいておりますそれについても、
0:04:15	今後これに追加をして、法令及び込む場合の記載の更新とPの有無を覆う統一的なやり方ですね、瓶のを決めて追加をさせていただきたいと思います。基本的には、前回
0:04:31	何のヒアリングかすでに忘れてしまいましたがヒアリングの中で御説明した全体として法令を受ける場合には公園の名称を法令の中での特定の条文の設計を考え方があったり決めごとを受ける場合には法令の前とその条文と、
0:04:48	いうことを記載をさせていただくということで考えてございます。
0:04:53	はい。それでは3ページ以降でございますが、4ページにつきましては全体の3.3全体としての記載の方針、これは5ページ以降の整理の結果を踏まえて共通で言うことというのを整理をさせていただきました。

0:05:09	ポイントとしてはやはりある保安規定に対する措置というものの位置付けというのを明確にするために4ページ一番下の欄の右側でございますが、その運用上の措置というのが何のために行われるのかという目的もあわせて上で、
0:05:24	整理をさせていただいたということでございます。
0:05:28	4ページにつきましては前回パッチ当面的になっていたものを、全体の構成という意味で、それぞれ何をどういう順番でしゃべっていくのかと業設計をして展開していくのかというのを整理させていただいた結果です。ファジーなところではもともとどこかのパートに入っていたことをオオオカ横並びを含めて、小更正を受けた。
0:05:48	それで、そこに記載を展開をするということが、5ページ目ですけれども、記載をさせていただいてございます。
0:05:56	また防護対策の設計についても、どういう順番でそれを登場させるかというのを横並びを含めた上で見解をさせていただいたと、あと5ページ目の下からすいません平面ページが5ページ目者ですね、項目として挙げたものとして、
0:06:14	保安規定上の運営の措置のところについては、先ほど申し上げました設計との組み合わせで必要な機能を損なわないための措置であるということで、項目を起こしてそこに集めて見解をするということで記載を整理させていただきました。
0:06:33	6ページ目でございます。6ページにつきましては以前から何度も御指摘を受けておまして重大事故対応設備に対する設計上の考慮というのは一体何なのかというのが明確でないという件こちらにつきましては一番左上のサポートさん全体データピンクのところやはりキーワードかなと思ひまして、
0:06:53	必要な機能が損なわれることがないように予防措置等を行うということの設計の対象であるんだということがわかるようにさせていただきましたということでございます。
0:07:03	ここで一番黒字になって全く変更がありませんが、以前、他の条文での指摘を踏まえて直さないといけないところがございますただし書きのところでございます5円許可の内容とやはり若干かは良いと関わっているんじゃないのかと。
0:07:18	いうを設計上の考慮の部分ですね工程停止も含めて全体の組み合わせでその機能を損なわない設計とするといったところの文章がやはり保安規定との切り分けでおかしなことになってますのでこれは全体含めてこの資料改訂した上でやはり、
0:07:35	統一的な生理学をというのをさせていただきたいと思ひます。
0:07:40	基本的には設計とする前にやはり許可で言ってた通り、工程停止の話を受けた上で工程停止に関する今期程度管理の仕方というのを、また書き以降で書かせていただくような展開を考えてございます。

0:07:56	7ページにつきましては、これは先ほどの統一的な構成の展開を踏まえた上でここに書くべきことというのを他のところからも集めて整理をさせていただいたということでございます。また外部火災のところだけ跨ぎがございませぬこちらの外部火災で重大事故
0:08:16	森林火災だけを確認するという理由というのがやはり7まで森林火災だけを書いているところに、今感がどうしてもありましたので最初の荷重の設定等の話の中で、その旨を展開をするということで整理をさせていただきました。
0:08:32	8ページは、保安規定上の措置の話全部集めて展開をしていると。
0:08:38	今一番左のほうに〇丸一場全体に①②③ということで先ほどの4ページに①とは何かリートは何かというのを書かせていただいたんですが、これ今日出ししている別紙のそうすけれども別紙になったときにはこれ基本設計方針としては、
0:08:56	とった上で、だれて記載をさせていただいてございます。若干個人的にはそれでよかったのかなというところに持ってまして何のことを言っているかがかえってわからなくなってきたただ羅列されるのが違和感のあるところは何らか表題をつけるなり何なりしたほうがいいのかなど思っているところでございます。
0:09:15	9ページ目は設備の名称をどこまで書くのかということでございます。こちらについては考え方としては列挙するのではなくて、代表選手1名だけを書いてある渡島とかで相当自体は、
0:09:30	取りながら防護する設置設備というのは、添付書類側で見解をして選定の理由等も話しますのでその中で分解をして必要なものを列挙していくかの展開していくという考え方でございます。
0:09:44	10ページ目につきましては、こちらは他の条文に飛ばすもですな攻略するとか、に含むといったものを含む包絡するって何を言ってるんだということで設計上の考慮というのがわかるように、そちらの設計に基づく対応するんだよ。
0:10:00	ということがわかるような件回答させていただいたということでございます。
0:10:05	以上共通的な撤回説明長くなりましたが整理をしたものでございます。説明以上になります。
0:10:15	規制庁清水です。ありがとうございます。これまでの説明に関して規制庁側から確認実行ありましたらお願いします。
0:10:30	静聴タジリ率をちょっと確認したいんですが、今回外部事象四つか五つぐらい並べて整理をされてるかと思うんですけど、今回の整理の範囲っていうのはこの他の自然現象にとどまるのか、それとも事業を含めた外部事象があるのか、それともそれ以外のものも含めたものかというところでしたっけ。
0:10:49	はい、流入車でございます。統一的な記載の構成も含めた展開としては記載の構成をどうするか整合するかについては、すいません残念ながら今は自然現象に範囲を絞った形になってございます。

0:11:05	ただ、もうこれは今回の構成ですけれども、ほかにも同じように展開しようとは考えてございます。また記載事項を保安規定の措置ですとか、DSFDBの書き方の問題、そういったものが自然現象だけではなくてほかにも水平展開されるべきものだというので、
0:11:23	全体的に展開したいというふうに思っております。以上です。
0:11:29	超過自立今出てきているほかのやつが持てるか置いとくとして今後水平展開と考えられてるということで理解しました後ちなみにあの今日説明があったものの以外に関しても要は1第1回で何かカクタなんかいろいろ共通的な話であったと。
0:11:46	とりあえず今日はここに書かれている範囲でということでもいいですか。
0:11:49	はい、与儀西原でございます。そちらの宿題もあることは認識します。今日の時点で全部ではないですけど項目として何があるかというものについてを含めてあと今の時点で整理が進んでいるものを指針を書いた資料ですね、本日お出しをさせていただこうと思っておりますすいません本来であれば、
0:12:07	清流間生協ということだったんですが、そちらについては別途ヒアリングをさせていただきたいと思っております。以上です。
0:12:16	規制庁田尻少し示されるということで理解しましたとか5項目などは意図たくさん持ちちゃってるんでほかの方先に何かあればお願いします。
0:12:25	規制庁カワラサキです。ちょっと今説明いただいたところに関連する事項のうち、重大事故等対処設備の記載の関係なんですけど、共通での話があるってことはおっしゃっていただいたかと思うんですけど、例えば7ページのところとか見ると、
0:12:44	一応その外部火災として、
0:12:49	森林火災の影響評価するみたいな話書かれていて、こういった話ってというのは、環境条件のところとの兼ね合いで、どこで何を説明していくかっていう話の一部であるかと思うんですけど、そういったところも含めて今なんていうんですね、この記載、
0:13:06	そういう拠点の整備とあわせて、
0:13:09	改めて考え方が示されるものなのかそれともこれはこの記載として、そのままになりそうなのかどうかっていうのをちょっと教えていただければと思います。
0:13:18	はい、有限会社でございます。今カワラサキさんがおっしゃっていただいた共通の重大事故側での環境条件何を見るかという整理というのも当然必要だと思って認識してございます。そちら整理の結果として影響が全くないとは思ってもいいんですが、
0:13:34	環境条件のうち荷重等のこれについてはどちらかというと重大事故側ではこういうことを考慮します。その設計の詳細についてはこの外部衝撃以外に飛ばすという関係というのもあって、こちらDな整理させていただいたものとしてはその荷重として見るべきものっていうのは何なのかと。

0:13:53	<p>いうのを、全体の整理が今後するにしろ、なぜ書くべきこととして、経緯をさせていただいたということでございます。</p>
0:14:02	<p>規制庁川崎です。そうしたときに、確か許可の時点では設備については、基本的には安重と同じっていう枠に入ってたかと思えます外部火災も同じだったと記憶していて、そうしたときに、今回森林火災飛行絞りに入っているといたるところの</p>
0:14:21	<p>説明で、例えばその、これはバルク人為事象も含まれているということでしたら、その外部人為事象に対してはどのような設計になってるのかといったところをどっかで離隔なり何なりっていう</p>
0:14:36	<p>設計があるような気もするんですけどそういったところはどこに</p>
0:14:40	<p>表れてくる。</p>
0:14:42	<p>もんでしょうか、外部火災の中では、</p>
0:14:44	<p>出てこない。</p>
0:14:46	<p>確認させてください。</p>
0:14:49	<p>外上下にイシハラでございます。そういう意味では片手落ちだったかもしれませんが。内部火災について重大事故たい設備のほうに事象の外部火災全体で考慮する外部火災原因なり何なりでどういう事象公立フルカワ影響かという整理しよう中で記録としては展開を交わらせていただいたとき、</p>
0:15:09	<p>こうしてございます。今ここに書いている記載も整理資料から持ってきたものになります。確かに人事職務で全体、重大事故に対して内容を考慮するかという考え方であったり30条を受けて展開としてどうするのか36条ですから、36予算十条受けた上での</p>
0:15:26	<p>類見解日付をするのかというよう整理も必要だという認識はありますのでそこは今後整理をした上で早急に御示しをさせていただきたいと思えます。以上です。</p>
0:15:39	<p>規制庁カワラサキわかりました。私から今の点は以上です。</p>
0:15:46	<p>規制庁カミデです。私もDBとSAの活気を系で少し確認をさせていただきたいって、基本的には耐震側への水平展開っていうイメージって、確認するんですけど、</p>
0:16:02	<p>まず5ページにあるように、当安全機能を有する施設に対する設計方針の後に、SA設備の設計方針を変えていくっていう、こういう活気を県に。</p>
0:16:17	<p>構成にしていくってことなんですかね。</p>
0:16:22	<p>はい、弓削西原でございます。これは耐震が出る前から合意の御指摘をいただいている今回分割申請をするときに基本設計方針をどう展開をしていくかということで、最初施設については今回DBだけ。MOX阪手あのことがある指導機器</p>

0:16:42	については5次回ということで、共通の設計方針を変えたときにどういう形で分割申請に示していくのかというのを考えた整理として今BDBAというものを順番に展開をしていくと。
0:16:58	ということで整理をさせていただきました。耐震もう基本形のつもりでおります。ただ一部ですね、まだこれ先ほどどこまで整理をしたのかということで、今自然現象のこの部分だけですとタジリさんにお答えした通りで、
0:17:15	例えば、他でも地震だけじゃなくて火災なんていうのは、共通的な設計方針で書いてあって以前もあんまり変わらないようなことをやっている場合があります。その場合に、今は及びで文書をつないで期待を展開してますけどもそれをこういうふう工夫してやったときに、
0:17:35	申請をがっちゃんこすると技術ね最後基本制度設計方針等が非常に見にくい形になるんじゃないのかということも含めて全体として構成をどうするかについてはすいません今の時点でまだこれを水平展開されるのはまだちょっと早いかかなと思ってございました。以上です。
0:17:57	はい、規制庁紙で定数えっと、
0:18:01	こういう書き分けをするってということで、具体的にどうなるかと自然げえしょうでどうかっていう話は6ページを見ればいいんですかね。
0:18:14	ちょっとその辺佳代子残ったんですけど、ページで、さらにとか言っているパートとかおページで言う10SA設備ワークでそれより前にDB設備の設計方針が書いてあるんですってそうそういうことです。
0:18:32	はい、カミデイシハラでございます。全部ついてなくて申し訳ありませんが、今、患者さんがおっしゃったようなイメージでございます。
0:18:42	はい。規制庁カミデ3の外部事象でそういうふうにしてるのがありました。一方でこのまま海進に展開できるかっていうと、耐震の場合は、なかなかこういうのページ見てなかったでおさまるようなものでございます。
0:19:00	少し検討しなきゃい検討いただかなきゃいけないなというところで課題は認識いただいていると思うので引き続き結果だということです。
0:19:15	はい、日本原燃シェアードでございます。今の点、私どもからも回答していただいた通り、出させていただいた通り、この展開するときには他の条文でどうなのかっていうのは、他のものをもとにちゃんと見ていかないといけないと思ってますので、引き続きの検討をさせていただきたいと思っております。
0:19:37	規制庁カミデです私のほうからは以上です。
0:19:42	規制庁ヶ月イトウちょっと今開かれている内をページ目。
0:19:47	マトリックスを今回整理していただいたところで、
0:19:51	やっぱちょっと落雷だけあっさりしてるなというところなんですけど、まず横並びの観点で別途発注的影響。
0:20:01	だとその他等落雷にないっていうこの辺の整理の差異っていうのを少し説明いただけますでしょうか。

0:20:15	はいよギリシャでございます。
0:20:19	落雷につきましては、どこまでを波及的影響とかいうかと思うんですけども関節がいう影響そのものがほぼ波及的影響に含まれているの感覚でもありまして、直接その波及的影響というものも関節がに対する影響ということに対する設計をすることに
0:20:39	で、そこについてはカバーできるのかなということで特別ここについては今後航行していなかったところでございます。その他の一番下の 3.3. 1 については、これもこの荷重の設計なり個々の対応の中で、はっきり
0:20:59	を含んだ形なのかもしれない。例えば高温であれば購入って波及的な設計上考慮すべきものを考慮しておけば、基本的にはその購入って何らか故障して、それが波及起こすと。
0:21:14	ということが荷重というふうにどちらかという、なんてすか機能的なものになる場合はそこが出てこないのかということで整理をさせていただいたところでございます。
0:21:25	はい、規制庁からです。落雷なんかはですね、結構今おっしゃったように
0:21:30	影響の考慮ってこと自体はやっていると思うんで上の行はかけるんじゃないかなと。
0:21:37	思って同じような文言で整理できるんじゃないかなと思っておりましてそういうところ、今横並びも都立っていただいて抜けている部分というのが何での低てるのかっていう説明がやっぱり今回の資料で欲しかったなと思って。
0:21:53	でいます。またそういう利用書きながら検討いただいて、これは俺はしてるんだから、考慮してるという部分は欠けるなとかそういうところを少し検討いただければと思いますがいかがですか。
0:22:08	はい、過ぎれ者でございます。今御指摘の点、第共通的な見解として整理を続けさせていただきたいと思えます。以上です。
0:22:18	はい、規制庁プレスよろしくお願ひします。あと似たような話でちょっと落雷なんですけど、最後の保安規定に定めるところで、落雷だけ新知見の収集で特化して書いてあると、原子炉のほうを見ても損なっているんですが、
0:22:35	これっていうのはまずどういう整理なんでしょうか。
0:22:45	はい、表現にシェアでございます。
0:22:48	基本影響過渡時の考え方整理の仕方というのを踏まえた上で、落雷については落雷が起こったとき、対して安全機能を損なわないように直接間接にともに整理をするということで考えておりました。
0:23:06	己そういった例えばですけども、落雷によってうちの場合は再処理施設で案安重に機能喪失なんかがありました。これが合言葉まだ今日来れば、工程停止等の措置も含めて考えるべきところはあるとは思いますが現状の上のほうの設計でそういったことも全部カバーしてやると。

0:23:25	いうことを前提に、保安規定上の措置っていうのは記載をしていないということ でございます。以上です。
0:23:33	はい、規制庁からです。そういうイトウなわかるといえばわかるんですけど、今 はその保安規定で定めることが新知見を収集するってだけなんですよね。そ の地域のたつてをするとか、そういったことまで踏み込んでない書き方になっ ていまして、ほかのところは
0:23:52	新知見に基づいて影響があるかどうか判断評価っていうところまで書いてあつ て何か落雷だけ実効でも置換が感じてしまっていて、そしてそこえといただけ ますでしょうか。
0:24:05	はい、日本原燃シェアでございますはい、おっしゃる通りですね、落雷の規模 なり何なりっての新知見を集めた上で、それによって設計条件の記録が必要 かどうかということの評価、必要だと思imasのでそういったことがわかるよう な記載の展開を検討したいと思imas。
0:24:25	規制庁化ですよろしくお願imasします。ちょっと、ちょっと初めの説明であつた 8 ページ目、こちらの 10 ページ目。
0:24:33	包絡性をどういうふうに
0:24:37	まとめましたっていうところを検討していただいたんですが、外部火災のところ が発端だったと思うんですが、今回その評価を行うというふうに
0:24:48	まとめていただいていて、他が多分、
0:24:52	トウソウ内外に基づく設計とすると、包絡してる部分でここでなんでこういう使 い分け書き分けをしてるのかなっていうのが気になります。なんかイトウあるん でしょう。
0:25:05	はい、表現にシェアでございますはい、私が多分って横並びを取り切れなかつ た結果だと思imas。今おっしゃる通り、敷地内に存在する危険物施設の項が 例えばですねその中で評価を行って機能喪失しないようにとか、
0:25:23	いうことを設計として約束しますのでそこに基づく設計とすると書いてもやって ることは同じだと思imasので、そこはちょっといま一度整理の仕方も含めて 検討させていただきたいと思imas。評価を行うといってること自体は小野ほ かと同じようなことを言っていると思imasので、そこも含めて検討させてい ただきます。以上です。
0:25:45	規制庁かですね今の自然現象横並びとか見るとやっぱり評価を行うって結 構、
0:25:52	使われているんですが今おっしゃったように、その超過って設計の一部として 評価を行った結果をどうするかっていうのが設工認の設計方針だったりする 部分も出てくるので即その所々にあつたその粉末みたいなことを考えていただ いてまた整理いただければと思imas。
0:26:11	私から以上です。

0:26:16	規制庁中です。ちょっと先ほどちょっと私のほうが細かい点ですけど、資料の 8 ページ目のほうですね、少し質問があったんでそのついでというところなんですけれどもいろいろこう横並びを見ていて、
0:26:35	このファン規制上の
0:26:39	扱いということで、①にですね新知見について定期的に
0:26:45	確認を行うというところで、
0:26:49	この新知見って何なのかっていうところも今後いろいろと詳細に話を聞いていく。
0:26:56	こととは思うんですけど、結構幅広い意味でですねこれ使われてるのかなと思っていてですね、そういう観点でいうとちょっと網羅的な記載という観点で、一番左の総た事象というのは①が何もないというふうになってるんですけど。
0:27:12	これ本当にやるのかなというところはあってですね、例えばその新知見でいうところを周辺環境とかですねそういう幅広い意味で捉えれば、必ずしも何もないということもないのかなと思って
0:27:28	そういうことでその網羅的に記載できてるかどうかという観点で、こちら辺ちょっと本当はないのかどうかというところは確認したいのですがいかがでしょうか。
0:27:40	はい。協議にシェアでございます。まず 1. 新知見というところは可能な限り許可はもう踏まえた上で、何の知見を得るのかということについては、許可の本文添付後整理しよう等で書いているものからピックアップして展開をして、単純に新知見という
0:28:00	ことにならないようにという工夫は頑張ってきたんですがまだ足りてないと思ってます。あと程度では後今一度ちょっと何語を定期的に確認していくのかということが具体的にわかるようにしていけないかなというところは御指摘の通りだと思いますので、
0:28:18	そこは継続していると整理を進めます。その上で、これはこれをそのまま環境部システムがあるんだという話になるので、そういったことも御アンケート以外での約束をするときにそれが今後維持管理をする上での必要なことって何なのかが明確になるような整理が必要だと思いますが、そこはやらせていただきます。
0:28:37	あと、その他事象のところも御指摘の通り、市気象観測上でのデータを用い系過去最高ものとか、最低のとか言ってますので、そういったデータについては定期的にやはり確認して評価をしていくという行為は、事業者としてはやらないといけないと思ってますのでそういったこともちゃんと読め
0:28:57	同様に記載をよく展開をさせていただきたいと思います。以上です。
0:29:04	はい、規制庁中です。ちょっと今後また詳細レベルの話を聞いていく中で本当に網羅的にかけているかどうかという点で引き続き確認いただければと思います。私からは以上です。

0:29:21	規制庁清水です。どっか規制庁側からどう 30 ページまでの全体的な記載の統一に関して確認等なければ、
0:29:32	事象 0 分から
0:29:34	コサクです。すみません。
0:29:40	今までの話で、個々いろいろと検討されていることをわかったのですが。
0:29:53	そうですね。5 ページ見ていただくと。
0:29:59	阿保ページじゃない 4 ページと 5 ページ。
0:30:03	3 ポツ 3000 体とその後、3 ポツ 3 ポツ 1 以降と、
0:30:11	ということがあって、
0:30:13	そのあと 6 ページからが、その個々の具体を比較で書かれてると。
0:30:21	いうところなんですけど。
0:30:25	等、大きくは、
0:30:28	4、
0:30:30	項目に分かれていて、まず全体の方針を述べるところ。
0:30:35	その次に荷重設定を整理するところ。
0:30:39	それを踏まえて、
0:30:43	具体的な設計対策について書くところ。
0:30:46	最後に運用上の話を書くところと、
0:30:51	いうコンセプトだと思うんですけど。
0:30:58	一応そのコンセプトがわかるように 3 ポツ 3 を書かれるということでもいいですかね。
0:31:06	はい、日本原燃者でございます。はい、ご指摘の通りで、すみません私が最後置換尽きたところでして、本来であれば、3 ポツ感が全体の報酬のルートですので、そこで大枠の話構成の話ごとで何を言うのかといった上で、3.3. 1 以降 O2 ウノの 5 ページですね、見解する必要があると。
0:31:26	思っておりました。はい、以上でございます。
0:31:30	はい。規制庁不足時数わかりました。それでですね側溝ソースたときに 3 ポツ 3 でちゃんと書ける内容が整理されているのかなっていうのがちょっとよくわからなくて、
0:31:43	6 ページは先ほど垂鉛ナカガワからでしたか。
0:31:49	違うかな。
0:31:52	SA機器しか書いてないんですけど、この前にDBがあってということで、ここが
0:31:58	その四つの分け大きな枠の中の一番最初のパーツの最後が書かれていると。
0:32:06	いう理解でいます。その次のページがそのもう一つ、二つ目もので荷重設定と。
0:32:15	いうことになってると思うんですけど。
0:32:17	6 ページの重大事項の 3 ポツ 3 の書きぶりというと、

0:32:23	カワラサキから話ありましたけど、9 ポツ 1 ポツ 5 環境条件等の基本設計方針に基づくと、
0:32:31	いうことで書いてあって、この中に荷重条件なんかもう少し含まれるんじゃないのかなと。
0:32:37	思うんですね。
0:32:39	一方で、次の 7 ページがあって具体的に荷重設定があると。
0:32:45	いうところの関係性がこういう構成で、
0:32:48	整理できているのだろうかというのがちょっとよくわかんなかったんですけど、何か整理撤去した考えでありますか。
0:32:57	はい、ユニデン社でございます。それがカワラサキさんからも御指摘をいただいて、私がまだ十分じゃないと設備した通りだと思ってまして、重大事故については特に華僑検討の中では荷重の設定けどが人為事象を含めて全体があるので、
0:33:16	それをちゃんと受け切れてるかってこの整理というのを 7 ページ側の荷重設定のところとコラボして、うまく整理しないといけないと思ってます。今設計基準の話を書いた上で、ベタッと張ってるに近いので、
0:33:32	そこが全体をカバーできるかというところを整理をしないといけないという認識でございます。そこまでまだちょっとしきいなくて申し訳ございません。以上です。
0:33:41	はい、規制庁補足です。その整理聞かないとこれで本当に回るかっていうそれによって、どういうふうに行けばいいかっていうことが全くあったのが頭に入っていないので、その整理を早目にお知らせいただきたいと思います。
0:33:57	7 ページの記載なんですけど。
0:34:02	3 ポツ 3 組み合わせだけが書いてあるんですけど。
0:34:06	ここに書くものの骨格を示すという意味であれば、荷重設定の考えっていうのは、ここに基本的な思想が書かれてないといけないような気がするんですけど。
0:34:17	そういう認識でこれから作業されると思っていいですか。
0:34:23	はい。日本原燃シェアでございます。はい。なんていいますか、許可を張った部分がかかなりあるので、それ横並びで、その構成を考えたときに、基本設計方針としての展開としてはやはり大分かタテウチというか、大分落ち度があると思ってますという意味で果汁載せ
0:34:43	提携の基本コンセプトがあった上で具体の設計の仕方に見解をされてくるものだと思いますので、そういった点を整理をしなきゃいけないと思っております。以上です。
0:34:55	はい、規制庁不足です。わかりました。許可のときにも、この各事象についてどこのレベルまでやるのかとガイドがあるからある程度自明ではあるんですけど、考え方っていうのはさんざん議論したような気がするので、

0:35:11	いろんなどころにそういうSsをあると思いますから集約して書いていただければと思います。
0:35:18	その時にあのSAとの関係とかもですね、わかるようになっていけばいいかなというところですよ。
0:35:36	今日、
0:35:38	この記事をまた報告。
0:35:41	先ほどまで話しになったところを踏まえて精査をさせていただければと思うんですけど、今回は外部事象の特に自然現象のところでの整理をしてみて考えてきたということなので、
0:35:57	人事長だったりほかの自主条文といったところについてはまだ検討ができてないということなんですけど。
0:36:09	やはりそちらで名の考え洞道
0:36:13	会うのか或いは使い分けるのかといったことも聞かないとですね、ここでこういう整理でいいよねっていうところには落ち着かないと思うので、月次の断面ではそういったところの検討も、
0:36:29	ある程度していただければと思いますけどよろしいですか。
0:36:34	はい、与儀西原でございますはい、全体見渡して比較検討しながら、どうあるべきかというところを探っていけないといけないと思っておりますので、当然ながらやらなきゃいけないという認識でございます。
0:36:50	はい、規制庁濃く測定するよろしくをお願いします。
0:36:57	はい。私がこの断面持っては、以上です。
0:37:05	はい。
0:37:06	延長し、
0:37:09	今まで規制庁側から何ければ等で1ページ以降に移りたいと思いますが、
0:37:15	よろしいでしょうか。
0:37:19	はいそれではどうぞ平均ページ以降で具体的な内容になりますけれども、規制庁側から確認事項ありましたらお願いします。
0:37:30	右下でございます11ページ以降と参考と書いてますこれやはりこの別紙シリーズに預ける部分もありますので、こちら何かあれば、当然承って時我々のほうの共通の見解のほうに反映していきたいと思いますが、
0:37:45	今回、一応参考につけてる部分については今後こういう形で整理を応募していくというのと私が作業するときに、特にへの横で全部の事象が並んでいるところも全体見渡してこういう横並びをしていくんだという作業をやった過程を載せているだけですので、
0:38:04	特段私の説明は特にありません。以上です。
0:38:16	規制庁清水です。はい、その明日も社協の後から竜巻たその外部事象なの個別のヒアリングも予定していると思うんですけど、今日この位横で並べたときに、今日中に確認したい事項がありましたら規制庁側からお願いします。

0:38:39	タジリですがっくらいは落雷のコメントはしてあるんでいいんですけど、14 ページから比較表なんですけど、途中の過程がばかりエリアな話を聞いたんですけど、横になってんですけど、内容はほぼほぼ横並びがとれてないんですけど、このあたりで今後何か改善されますか。
0:39:00	はい、日本原燃者でございます。はい。
0:39:03	おっしゃる通りでございます、はい。ここも今、多分見え消しとかいろんなものが錯綜していて私がああ順番入れ替えたりとかいう時に有効に並べてみながらやった過程ではあるので、そういう意味では完全に横に並んで書いてないところもありますので、
0:39:21	最終的にを見ていただく資料としては、先ほど全体含めるもう一度おま直さなきゃいけないというものをした上で横に並べてお店に寄与していきたいと思っております。以上です。
0:39:39	イトウタチエス今後示されるということなんで、ざっくりだけ言っていい町いつときもあっけど、まず 14 ページ冒頭の部分からなんですけど、指定を受けた想定されるとかって書いてるやつもいればそう書いてないやつも言った具体策を外部火災で書いているかといった他んところは対策を講じ発想だけっていったらいい。
0:39:59	影響評価の話も書いてあるやつで切り換えてないやつは適当割と冒頭カラー結構売れていってただそこの関係があるのでどこまで行われてるのかっていうところぐらいを聞こうかなと思ったけどそのあたりで何か言いますか。
0:40:13	場合入念にイシハラでございます。先ほどのコサクさんからご指摘あった通り許可の段階でもそれぞれの事象で必要なことってのはやはり議論をされていると思ってます。明示的に書いてないにしても整理しよう等いろんなパーツを用いて、
0:40:31	システムが必要なことをやはり同じように言わないといけなところだと思いますので、そういった観点で基本設計方針としてお約束することというのはどこぼがあるようなことがないように、の整理をしていきたいと思えます基本これあの、
0:40:49	外部衝撃として行政共振している過程で学んでいくので、結果見たときにバラバラなくを何かいまいち設計として本当に整理できてるのかっていう疑問を生じますので、そこは可能な限りそういう形で横並び含めて整理できればと思っております。
0:41:08	やっぱりいつ今後どこまでかわかんないですよこのやり方はれていることをとらえていくというんで理解しました。あと 16 ページで聞いてみたかったんですけど、ちょっと図面一斉のせいに自分がわかってないからかもしれないんですけど、内的事象要員のSAの話をいずれも同じような形で書いてはいるんですけど。
0:41:28	例えば

0:41:30	その内的要因の一步前の項ではさらに重大事故と対象施設についてっていうので、薄膜が竜巻から守る引こうかセンター5 火砕物から守るって書いてて例えば外部火災というのが書いていなくて、但書急に内的要因の話だけが出てくる形になるんですけど、こういうところって、
0:41:47	そのまま並べて帰って意味同じなるデッキあの要は外部火災に関しては移設に守りますよと言わないんですけど、内的要因は保安規定に定めて走りこに見えてくる形になるんですけど。
0:42:01	はい、日本原電者でございます。これ私がハヤカワしたパターンですね、屋内の屋外のと会計に重大事故たい設備で記載がですね、上の設計の臭い等、に乗っていくべきことがここに書いてあったのでずらしたんですけど、ずらした結果として全部記載が抜けてしまった。
0:42:21	本来ずらすイコールここで本来書くべきこと改定セットなんですけど、それがちよつとうまくできてませんでしたMISすいませんここに書くべきことは書かないといけないと思ってます。以上です。
0:42:35	規制庁田尻ですね、内部事象KY機器をこういうふうにならされると、何か違うところがやっぱり見えてきてしまうところがあると思っていて強固な竜巻やって明日残りの外部事象とかやるんですけど先ほど整理されるようなこと言われてまた示していただければと思うんですけど。
0:42:50	例えば結局横並びの表みながら最後精査してくの形になるかなと思ってるんでその点よろしくお願いします。
0:42:57	平野のほうでもちよこちよこ関連づけをここまでのページの方で何かあったりしますか、何か細かい話をここから僕らと思ってるんですけど。
0:43:14	タジリですとなったそうなので、何か後ろのほうもですね、横に並んでいる形で、こちらに記載の大きなないみたいな結構あったりするんで、そういったところに関しては補填されるのかっていうのあるところも多いと思ってるのでにおいて高めて直そうと思ってるので事務的には自分からは以上です。
0:43:43	規制庁清水です。どっか規制庁側から等がありますでしょうか。
0:44:03	規制庁清水です。当個別の内容については、この後の客先なヒアリング多数以降のそれぞれのヒアリングで確認するということとしますので、くらなければ、竜巻がないように移りたいと思いますが、
0:44:23	原燃よろしいでしょうか。
0:44:27	はい。日本原燃三浦です。それでは、
0:44:32	すいません規制庁カミデです。オペ一旦この資料は、というところを確認したかったんですけど、
0:44:40	今日いただいたスケジュールで耐震診断法ですね、別紙 12 のスケジュールば来週ページなんですけど、SAPの書き分けっていうのを整理してたらみたいな形でですね。

0:44:57	恐慌のヒアリングを受けていたような形だったと思うんですけど、そちらのスケジュールについて、今こどう考えてるか、説明いただけますと、
0:45:12	はい。いうギリシャでございます。はい。
0:45:16	打診がとも相談をしますが、まだ整理が終わってないに近いので、
0:45:25	そこも含めて出させていただくとするとスケジュールをもう一度見直さないといけないと思ってますが、それ以外の項目d耐震側でご確認いただくようなことがあるのであれば、そのスケジュール関連とさせていただいた上で書き分けのところは別途という形になるかと
0:45:46	はい。
0:45:47	はい。
0:45:48	今、
0:45:50	規制当局改めてちょっとイシハラさんの音声が途切れがちなので、ちょっと今、耐震のところについては云々といったところをちょっともう一度言っていただけるとありがたいです。
0:46:01	はい、日本原燃の石原でございます。申し訳ございません。海進流れとして、夜間 60 やらないと確認を確認いただかないといけない内容があるのかどうかというのをですね、耐震チームと話して個別で御確認いただくことがあるのであればスケジュール通り出させていただきます、
0:46:21	米国のいただくとかただしそのときには、衛星リビング書き上げについては別途共通の展開を踏まえて直させていただきますということになるかと思えます。そこも含めて、耐震チーム等をスケジュール化であったりやり方というのを相談させていただいた上で回答したいと思います。以上です。
0:46:42	規制庁管ベースわかりました。それと、
0:46:45	から地震においても衛星DBの発表決定結構いく抵抗性お話しする上では、そこは整理されてないというところもあるんですけど。
0:46:55	一方で耐震の場合は、本文から添付の基本方針関わる中 5 す。繋がりをどう整理するということも結構いいことで、そこについては、SDPの供給とっているわけです。
0:47:12	しょっぱな思いますのでそのあたり含めて、
0:47:15	県耐震っていうのを載せて受験をしてまた連絡いただければと思います。
0:47:22	よろしくをお願いします。
0:47:25	はい、日本原燃西原でございます。そういうことで出させていただきます。耐震ができていた基本設計方針を受け、添付書類側の別紙二、三億の展開の仕方については、こちらについては、当方から耐震チーム岩方針を示して具体の展開をしてもらおう。
0:47:45	出ますので、そちらのほうも御回答することが必要だという認識はありますので、そこも含めてのスケジュール感というのを耐震と相談したいと思います。以上です。

0:47:59	はい規制庁上出です。わかりました。私から 1、
0:48:07	H四隅ですとか外部衝撃の大飯の対応方針の資料に関して規制庁側から何かありますでしょうか。
0:48:22	規制庁シミズですとなければイトウ竜巻の資料に入りたいと思いますが、現年よろしくお願ひします。
0:48:32	はい。日本 0 エビナDF栄光外すいません竜巻の共通、00 ということだとそ竜巻の 0001 と 02 になっております。まず状況なんですけれども、こちらですね 9 月 30 に提出したものになっておまして、
0:48:52	本日の中身としましては別紙 1 から 3 になってございます。で、別紙 4、
0:49:00	学校なんですけれども、来週ですねヒアリングの予定とさせていただいているんですが、教科ちょっともしかしたら明日になってしまうかもしれませんが、ヒアリングに影響がないようには提出したいというふうに考えてございます。
0:49:17	後ですねゴソツ再処理側もそれと竜巻 0001 のですね例えばと 37 ページの部分で、ここは第 2 章の個別項目の例えばねやっぱの飛来物防護ネットの
0:49:35	設計方針みたいなどころはですね、補足説明の外竜巻 10 億の方でまだ、その記載をちゃんと再度整理することというふうなコメントをいただいております。そちらについてはまだ
0:49:51	十分に検討中として、そこが反映できてはございません。ただこちらが外竜巻 16 のほうで議論させていただいて、その中身を入れるとか、そういった形で進めさせていただければと思います。
0:50:05	あともう一つですねちょっとこれは誤りになってしまうんですが、53 ページですね昨年地区最初の 53 ページで別紙 2 をですねちょっと番号運んでる方があるんですけれども、こちらはEXCELをですねちょっと資料化するときに、
0:50:22	非表示機能のままとなっておりますね、／飛んでいるところでございます。こちらすみませんで 10 月 5 日にですね修正版は提出させていただいておりますのでそれはまた来週のヒアリングの中でお話しさせていただければと思います。
0:50:39	はい、それでは、修正のポイントを含めて簡単に説明させていただきます。
0:50:46	日本原燃のフルカワです。竜巻の別紙再処理側の別紙 1 の資料について、
0:50:53	前回のヒアリングの後から変更したってお花変更点を
0:50:59	東海させていただきます。
0:51:01	まず、
0:51:02	評価に用いる衝撃荷重について設計飛来物に加えてその他の環境時状況を考慮して評価に用いる飛来物の衝突による荷重を設定するという主に 1 割のことを考慮した想定した記載を追加させていただきました。
0:51:22	影響タケダなんて言ってきた右下 16 ページとかの話だと思うんですよ、ページ番号を言ってもらえて安いよろしくお願ひします。などのフルカワです申し訳ございません先々ほどの御説明は 16 ページのところでございます。

0:51:39	記
0:51:43	にはですね。
0:51:45	ちょっとお待ちください。
0:51:54	23 ページの
0:51:56	田巻防護対象施設の波及影響をおよぼし得る施設についてなんですけれども、
0:52:01	この前は機能的影響のほうに検討
0:52:06	の記載がありましたので、ここを正しくですね機械的影響のほうに倒壊または転倒ということで、修正させていただきました。
0:52:13	竜巻個別に関するその主な修正については以上になります。
0:52:20	規制庁か美術等とバイク置き場にもなっているの細かい点含めてちょっと事実関係も込みで確認させていただければと思います。まず右下 7 ページからなんですけど、そこまで期待するルートとしてだけなんですけど。
0:52:36	今タカマツも大変な話んとことだ、基本の方針とか何とかで機械的強度を有する等とかで、機械的な話まで言ってい系へ前半のほうでどこまで床っていうところなんですけど今イトウ. 君とここで見ると時半のところも機械的強度の話とかまで
0:52:53	いっそうなんですけど、これは多少変わって負けたり閉まっ溢れともう下がったら谷仲間でないことってないかどうかいいですかねまあ必要なものもそこまで書いてなかったような気もするので、あんまり何かこだわりまでではないですけど。
0:53:23	少々お待ちください。
0:53:33	経過時随伴低圧ません倒壊とかのほうの話ですねごめんなさい日発表とその一歩前になっちゃってごめんなさい。場所間違えました。
0:53:41	黄色一般的なのまた書きですねまたその施設の倒壊等によりっていうところで横のところに蓋といったとこで憲法のとこで期待できるとの話まで言ってたので、各子供書かないことまで全部できるのかなと思ったので、そのあたりで何か整理つきますっていうだけ。
0:54:01	日本原燃のフルカワです。今は我々の
0:54:06	ほかの添付書類のほうでは機械的強度までお話設計記載しているんですが、基本の方針には、その記載がないということだと理解しましたおっしゃっていた通りこの後出てくる(2)のそれぞれの設計、
0:54:22	評価対象施設について記載するところでは詳細に書いておまして、この時点については、発電炉のほうを参考にこの程度の記載とさせていただいておりました。以上です。
0:54:35	10 日に列の全般に閉まっとか、この白血球とかいうところなんで、あまりこだわりまでに新たに言った指摘の意図は

0:54:44	その東海とかの話の一步前ところで、機械的強度を有するとメインの方のところで機械的強度の話、ここで言っちゃったので、以上で細かくって話だけだと個別に書くこともできちゃったんでまたに考え方だけ整理してくださいねっていうでプレッシャーの書かなくても意味はわかるのであまりこだわりはないですと、
0:55:02	ここはもう任せてるのはメキで見る最後今ほかのビジョンをほかのすみません、竜巻の外部事象とか見ていけなかったんで、ほかのところで解体するということないってなくなるちゃんと整理してくださいってうだけなんでやるときにあわせていただいても特に問題はないです。
0:55:17	次に右下 9 ページに行っていたいでなんですけど。
0:55:22	社協とイシハラさんの決定見る局部のところであったんですけど工程停止とかの話も設計としてうたった上で、この保安規定の話を歌うような内容だったかと思うんでそこはまた直るんだと思ってるんですけど、ちなみになんですけどそうした場合この工程を停止するところの保安規定の話でここに書きますかそれとも
0:55:42	後ろに書けますか。
0:55:47	はい、日本原燃者でございます。答えとしてはここに書こうと思ってました理由合い下側に書いているのは前DBについてはいろんな手を尽くして安全機能を損なわないというのが大前提だと思ってます。
0:56:04	条例そのために必要な措置というのを設計との組み合わせで運用上措置があると思ってます。SN場合は、確かに機能を損なわないけない非常に重要な要素ではあるんですが、万が一のときには重大事故起こらないような環境下に持っていくと。
0:56:21	いうことで対応を図るということもあるのかなと思ってましてここ等のDBとSAのその境目が違いがそこにあると思ってましたので、正の効果出しが切れ始めるところについてはここで書かさせていただこうと思ってました。以上です。
0:56:39	おわかりですさっきの共通のところでいろいろ確認し損ねたイワキ安らぎ直角になんですけど、保安規定に書きますよっていうやつで一番小児科のDBの絡みだけで、成果の一番後ろに書かないってことですかね今の話っていうのちょっと説明がうまくなかったかもしれません。
0:56:57	安全でその必要な機能を損なわないための措置ということで、そのために、設計との組み合わせでやる運用力と地域のは、DBSAかかわらず絵の一番最後に書きます。今回このただし書きにある、最後の工程停止のところは、
0:57:14	安全機能装荷の必要な機能を損なわないっていう設計というは必要な機能程度が確保できない場合に、当工程停止なんかの措置を講じて所重大事故等が発生するような環境下にしないと、こういったことが起こらないような状態に移行するんだと。

0:57:31	若干後ろに回轉變形量が違うのかなと思ってましてという意味で、書き分け書く場所を変えたいと思ってたところでございます。
0:57:41	規制庁田尻ですおっしゃられてるのは多分必要機能損なわないための運用上の措置って解体高いって言うてる人の多分項目の名前は忘れた必要機能損なわないための運用ではなくて、赤の機能損なわれたときに、代替措置課題かわかんないですけどそういう時のために取るものっていうことな気がするんですけどそういうことですかね。
0:58:01	はい、入射でございますはい、そういう意味合いでございます。
0:58:07	町ためです。ちなみにほかのものなんですけどここ今設定と運用系の連続で書く形になっていって低調流れとしては設計うたってその中のこの部分を見ようですよという形になるんだと思うんですけど、先ほどの説明の中で一般的でも非常に持ってると思うんですけど。
0:58:25	あそこに書くときに、要は前に書いてある設計部分との繋がりっていうのが、水入れていない気がするんですけど、先ほど効き目はたかもしれないけど、一番最後に書くのって何でいけば世界的わかりやすいとかそういうオオハシ的
0:58:39	はい、日本原燃者でございます。今ここに書く何回も何回も今期系の措置っていうのが書かれるのでそれ自体が4読みもとしてその設計なのか何なのかがわからなくなるころというのをかけたいということもあって、
0:58:57	場所を固めました。あとは運用上の措置が先ほど申し上げた通り機能を損なわないための設計との組み合わせということなので、前にカクタ話がおかしいのでうちの場合に持ってきたということでございます。
0:59:13	これ、この外部衝撃の場合は、それぞれの事象のタームごとにオッケー低角ことによって、あまり設計との会議の距離の帰りっていうんすかね文章上の乖離がないように工夫のかなと思ってましたこれ他の事象、ほかの弁の条文でもってきたときに、
0:59:33	全部まとめて最後に加久藤設計はるか遠くにあつて何言ってるのかよくわからなくなるころは幹部とにかくとかということでなぜ何らか措置が要るのかなと思っているところでございます。
0:59:45	トータル利率今おっしゃっていただいたように張りついていて何かもはや設計どこだけっていう形のものが一体層位竜巻そこまでなかった形跡といったような気がしていて、基本的設計契約してその運用にかかるものも含めて本件書きますよっての一番最後の疲労運用の話も含めて一通りの適用で書かれている場合、そこはそこで
1:00:05	完結した形になって一定で最後に保安規定のその一部分だけできて、前に言っていた全体としてタテウチのこの部分を保安規定としてちゃんと担保するんですよっていうふうを示すという意味では見れる思っているんですけど、若干物により低下としては何か判りイレギュラーなものが出てくる可能性があると思っているのですその結果みたいな、

1:00:23	今日から今日は2日今日は特別やりと思うんですねときに確認させていただければと思います。
1:00:29	IPOギリシャでございま承知しました。おそらくその他事象とかは1自然現象人為含めて一番最後に加久藤非常に遠くなくてはあるということを火山が結構設計の中に、の文章があったの長かったりするんで、
1:00:47	距離が開く可能性はありますその他の事象の場合は時自然現象と人為事象でそれぞれ各というやり方をすれば、KKとの会議というのを少なくなるのかなと思いますのでそういったことも含めて、ご指摘踏まえて、もう一度整理も含めて考えたいと思います。以上です。
1:01:07	影響度です。今おっしゃっていただいているやつがメインだと思ってます以前全体の構成とかの整理してって改めて確認する形になると思うんですけどきはまたよろしく願います。次いかせていただいて、右下10ページに確認に近いものになっちゃって申し訳ないんですけど、括弧1234って書いてあった。
1:01:26	その次にただけの文章が書かれていて、また全く何とか安全機能を損なわせる可能性がある施設またはなくにその施設の特定の加工ってやつがいるんですけど、これって結局何か外交いるでしょ。
1:01:55	日本原燃のフルカワで少々お待ちください。
1:02:09	人たちにそのイトウは何かこれが読み読めるような記載がどこかというのがちょっとわかりづらくて、やっぱり障害だったら見込みといいかなと思った程度で新たにないんだったらあなたが増えても仕方ないかなというふうに今、一応確認させていただいてます。
1:02:48	ひとたび別他といった進めてるので後でもいいので若手タイミングで回答いただければと思います。
1:02:56	日本原燃のフルカワです。申し訳ございません今回答させていただきたいと思えます。今線ここも記載はですね、波及的影響をおよぼし得る施設で選定している。
1:03:07	使用済み燃料、
1:03:09	輸送容器管理建屋というものがあるんですが、ここについては建家はですね。
1:03:15	いくつかの建物から構成しておりますその中で安全上重要な施設を収納する建屋に波及影響をおよぼし得る施設っていうのはその中の一部になります。
1:03:25	そういうことを
1:03:27	表現したくてこのような記載とさせていただいております。以上です。
1:03:32	影響度率キャスク建屋の話は基本的に大きなどっかに書いてあった覚えがあるんですけどそこってそれが読める記載になってましたっけ。
1:03:43	日本原燃のフルカワですみません確かにこの建屋はキャスクを収納している建屋でもあるんですが、ここで言ってるのは、キャッシュ公衆キャスクへの影響ではなくてですね、近くにある安全上重要な施設を収納する建屋への波及影響の施設としてその建屋を美化選定するときに、

1:04:02	ぴあ、一つの建屋目で示しますと、
1:04:05	いくつかの建物からなりますのでその建物の内ある一部の箇所が波及影響を隣の安全上重要な施設を収納する建屋にはつきり影響を及ぼすという意味で説明させていただきました。
1:04:17	以上です。
1:04:18	規制庁の田尻です。何となくわかったんですけど多分多額の特定のカタって書かなくても何となく意味は通せる記載だったというので何となく理解しましたので許可添付で細かく書いてたけど、実際問題で特定の泊と言われたら当然影響をおよぼし得るところしか書けないっていうのは当たり前の話だと思うんでづけるもんだという理解できました。
1:04:38	どばっさせていただいて次なんですけど、あれ確認に近いんですけど、12 ページ、13 ページのところ、ABCDという形で個別の設備の話に書いてるところになるんですけど、DとEに関してなんですけど、ここっていうのは、設計方針として具体刃物甘かったIFっていう整理になったり深く、
1:04:58	他の薬に関して言うと、例えば冷却塔とか、個別のやつを一つ名前あげますよみたいな話は聞いたような気がするんですけど、BとかEってどういう整理になったりしたっけ。
1:05:27	日本原燃のフルカワです。ここについてはですね。
1:05:33	ちょっと先に進ませていただくんですけども、(2)ま 21 ページ以降の記載でまたでしようとして統一を取りながら記載を考えたときにですね。
1:05:43	ここに相当する添付書類の記載があるんですけどそこからそのまま記載が持ってこれるところっていうのは先ほどの上のほうに引用してなくてですね、この添付書類 6 のこの
1:05:57	例えばですけど、21 ページの 1 ポツ 7 ポツ 10 ポツ 4 発一致ほかのこういう添付書類の校正の
1:06:05	こっちですね、
1:06:08	記載を引用できるところについては、上のほうも記載を引用しておりません。以上です。
1:06:15	影響タジリです。必ず売掛という意味ではないんですけど一滴ながら電力にどこかに礼儀としてはものは書かれていってさっきのところ、12 ページとか 13 ページのところに書かれていて、別のところで特に入っていないんでそこはかけませんっていう説明だけだと若干弱い気がしてって、
1:06:34	じゃあほかの電力の持ってくればいいじゃないかって入れてしまうので、別にこのところに関して言うと、建屋の耐火ほぼ期待できないとか
1:06:44	悪影響のものであるとかっていうのは別に個別の設備はなくてもそのような具体の設定に書かなくてもそういったものっていうのを書けば十分だと思って今具体で自体が防護対象の設備とかっていうものから少し外れたようなものって

	<p>というのが出てくるときもあるので、あまり個別の話まで書かなかったっていうのは、やっぱの方で何となく理解はできる気はしていたんですけど。</p>
1:07:04	<p>ハセガワ. 66 この部分にないのっていうふうな話されると、その 1023 ページに会計で書けばいいじゃないかっていう話になりかねないので、別にあかなくても何かいいレベルのものが多いかなというふうな認識はしているんでしょうね。例えば期待できないっていうのがそもそも</p>
1:07:21	<p>要は対象が特定しやすいものっていうイメージがありまして、そういう考え方がかなと思ってたんですけどそのあたりどうですか。</p>
1:07:29	<p>2 個目のフルカワで申し訳ございません。ご指摘のイトウですね十分理解できずに回答してしまっておりました。申し訳ございません。</p>
1:07:41	<p>人たちが別にそこにタナカまねけどどんな形で基準より 2 社でございます。共通の見解としてイメージで書かさせていただくことで過分がないようにさせていただきます。</p>
1:07:57	<p>タジリです。レジオオハシに関して言うと今日も竜巻ヤマダ出てこないんですけど、明日のポンプとかでちょっとボチボチ悩ましいやつだ場合って、あの火山とか閉塞の話とかになるんですけど</p>
1:08:11	<p>前の例としてはヤマダ電機とかなんかオオオカないけどそういうのが書かれていて、内ミヤモトじゃないか、別の関係から換気設備か何かの話が書かれていて換気設備等って書かれていて、うちのところで機能を損なわないところで冷却機能みたいな話が出てくるんですねこれ何かっていう等から管の周の方から話が入ってるから。</p>
1:08:31	<p>なんですけど等の部分に、要はの電気で示したものと後ろに書いてある設計の内容機能がかみ合わない気体とかは多分出てくると思うんですね、そういったところもあるので何でもかんでも金具礼状書かなければいけないとまでは思っていないくて、24 往復する海底駄目とも思っていないので、</p>
1:08:47	<p>ある程度湯ノ瀬持って対応しないと多分書きづらいところが出てくると思うんですけども含めて御検討いただければと思います。</p>
1:08:55	<p>はい、日本原燃西原でございますそのパターン認識をしましたが、ちょっと共通的な展開で書かさせていただいたので、ご指摘のように外部火災でもあったと思います。運転温度冷却水の運転モードとかいろんな複数出てくるんですけど、レンジが 1 個だけって言うので。</p>
1:09:15	<p>で書いてあるものと一対一にならないパターンがあるので、そういうのも含めて書き方を考えたいと思います。以上です。</p>
1:09:24	<p>取っかかりですよろしく申し上げます。次に右下 15 ページに行っていただいてなんですけど。</p>
1:09:30	<p>ここはちょっとどういう整理だったかなっていうわけなんですけどあの点 6 が抱えていて、車両についてはというふうに白抜内工上の配慮無理なんですけど。</p>

1:09:40	例を書かなきゃいけないのかっていうところがちょっと悩ましいんですけど、添付で海底だから一応確認するっていうだけなんですけど、こことここで、建屋の屋根及び外壁を固定する運用とすることからっていうのが抱えていて、こういうのってどこで担保するんでしたっけや運用の話として権力に解決したかっただけ聞いてるんですけど。
1:10:05	規制庁の田尻です。ちなみに運用って書いてただけどこれは自明でしょっていうならそれはそれで理解はしようと思うんですけどこの昔、6 で書いたこの運用とすることからっていうのがどういう意図だったかっていう思い出していけなかったのはですね。今確認させていただきます。
1:10:32	日本原燃のフルカワです。こちらがもちろん建屋の屋根とか外壁は一部
1:10:37	竜巻の荷重でもちませんのでそういうものはほかの飛来物と同様にですね運用で固定等することとしています。以上です。
1:10:51	当課でいいですんで設計飛来の飛来物とかのところで書いてある固縛とか保険とかのところでこれも読めますよっていうことでもいいですかね何かこれは特出しで書かれて結局この固定っていう話にどこで読めるっていうことで、前が建屋の屋根や外壁っていうのが飛来物になるようなものっていうところが範疇だったという整理すかね。
1:11:08	日本原燃のフルカワです。その通りでございます。以上です。
1:11:13	健聴カミデ理解しました。次 16 ページ行っていただいて、にわたりくらい分を申し上げると、コメント手当でせこいの基本設計方針の 7 行目ぐらいから始まるところで構成材よりも運動エネルギーまたはどうのこうのって分かれていて、
1:11:31	今、退避または撤去を実施すること底面飛来物防護ネットは構成パイプをどうのこうの及びっていう形でつなげるんですけど。
1:11:39	ちょっと文章の切れ目がわかりづらいんですけど、回避または撤去を実施することの天端並びにとかじゃないと多分繋がらないんじゃないかなと思っていて、後ろの部署が飛来物防護ネットPSA通過させない設計で衝撃荷重を構成材に包絡されるっていう話にしているような気がします。
1:11:57	いるんですけど、やはり構成パイプに諮る話と、それ以外の前のところで話し切らないと今ここ 2. で渡れると全部が横並びなんですけど、そうすると、多分文書が読みづらいんじゃないかなっていう気がするんですけど、これは出ますかね。
1:12:18	日本原燃のサカモリでございます。今タジリさんがおっしゃった通りで、ここで一旦文書切れてます。撤去を実施すること以下は構成パイプ該当非DBA衝撃荷重としていない話なのでここをちょっと切れるように文章を修正したいと思います。以上です。
1:12:38	以上ですよろしくお願ひします。あと心は何か確認やってくるんですけど、16 ページ同じところで、今ここのちょうど右のほうの 5 のところに行っていたけな

	んですけど、旅行妥当一応資機材等設置場所及び障害物も考慮していないと書いていて、
1:12:56	でまあ今これも壁とかがあつたりは高さの概念で一応障害物もうってという話も込みで書いてるような気がするんですけどこれは書かなくて大丈夫ですか、要はそういったような遮へい物みたいなやつで飛来物除外してたりする場合があつたほうがいい気体だと思うんですけど、なければ別にどっちでもいいかなと思ったんですけど。
1:13:21	日本原燃のフルカワです。設計としてはそのように明らかにですね向こう側に飛来物が飛ばないように壁があるとかな場合は考慮しておりますので、
1:13:32	こちらのほうの記載になって、正しく地裁建販直そうと思います。以上です。
1:13:38	規制庁田尻ですよしくお願いしますで同じ理屈なんですけど、そのページの一番下のところで対処して柵を設計飛来物つちゅう問題提起またはそのころで分かれていて、自分とこ行くと、ここで若干言葉化しているのが何かっていうと、
1:13:55	結局場所及び障害物の予防を考慮していうふうについてや特にある継ぎ手関係のやつは固縛しませんよってというのがここで読める気がするんですけど、これ設置状況を踏まえてっていうので4件と思えばいいですかね。
1:14:14	日本原燃のフルカワです。そういう意図で記載したんですが先ほどの修正もありますので、当位置的に記載見直しさせていただきたいと思います。以上です。
1:14:24	一応タチエス許可の記載を生かしながらやっているもので構わないんですけど、必要なの方では工認でわかりやすく書いてあるところだけもらったりすると思うんで要は前は口に合わせてきて、今今度またとかにより過ぎて、各直せばいいところもっていうところもあるかもしれないので、こちらもクラス以下の段階だと思えます。
1:14:42	お願いします。
1:14:49	規制庁たりですね。続いてかせていただいて20ページなんですけど、ここは単に確認なんですけど、20世紀税低角でコアの許容限界の話書いてあると思うんですけど、許容限界に関して基本的方針が書かないっていう整理でよかったですか。ちょっと記憶がうろ覚えなんですけど、外部火災か何かのところ、
1:15:08	コンクリート化の鉄板の難度っていう話をしたような気がしていて、ちょっとあそこの並びがとれるかどうかある話だけなんですけど。
1:15:16	外部電源にシェアでございます。教員の趣旨が日本語でかける場合は、数字は書きませんので、外部火災の場合も確かコンクリートの圧縮強度が維持できる温度ということで、日本語で書かせていただくということで具体は添付書類が出た。
1:15:35	いうことで考えておりました。それが日本語で書くに余りにも難しい場合は数字を出す場合も残っておると思っております。以上です。

1:15:45	系統たりですと、今言ったこちらの数字の話というよりは、許容限界にかかる気体低調結構動きには何か書いてまして、っていうのが竜巻の質問で、今御話とかしたのは許容限界にかかるような記載がなかったような遅れがあって、
1:16:00	今数字書かなくてその文章で書くでもいいんですけど、竜巻に関してその文章で書いてるところってどっかありましたっけ。
1:16:18	少々お待ちください。
1:16:27	はい、日本イニシャルでございます。ちょっとそれも横を見ながら、全体としてどう書くべきかでの整理をさせていただきます。添付書類で教育委員会の話をする場合に、基本設計をして何もそのことが触れられてないのも展開としては今ひとつの気もしないでもないので、
1:16:45	えっと他の見ながらちょっと展開の仕方は整理させていただきたいと思いますこれ共通側で受け取らせていただきます。以上です。
1:16:54	規制庁たびよろしくお願ひします。次 23 ページにいてなんですけど。
1:17:01	私の話じゃないんですけど
1:17:04	本当のところはイトウの解説っていうのは書いてあって、冷却等の等ところで等の立つ内容がデータ変換などでありって書いてあるんですけど。
1:17:12	洗缶であってましたっけっていうだけなんですけど。
1:17:17	場合に上にイシハラでございます。これも多分、屋外の竜巻防護施設、冷却塔をしいき等、あと利益額等を、或いは移設するときの関係で
1:17:35	電線管とかボックスカトウ配管ですかね、そういったものが含まれますので、そういった主旨がわかるように電線か起きないでそんなに一定程度よくわからないので、ちょっとその辺の主旨がわかるようにイトウの解説開きたいと思ひます。
1:17:53	規制庁、タジリでせめてダクトとか配管ピットもらったらわかるんですけど 11 ページに具体的設備書いてあってそこが電線管に繋がるものといましてなかったと思うんで、その点よろしくお願ひします。続いてなんですけどそのページのところで、今回倒壊または検討っていうので書かれたというお話を
1:18:10	そこは理解なんですけども、電力の方に聞いたほうがいいかもしないんですけど、電力の方で、波及的影響のところ破損っていうのは含めてるんですけど、要は一部が崩れて落ちてくるとかそういうイメージを入れているかどうかなんですけど。
1:18:32	日本原燃のサカモリでございます。今タジリさんがおっしゃったのは、機械的影響に加算破損という言葉を含めていたかどうかという趣旨でよかったでしょうか。
1:18:44	タジリ塗装です。
1:18:46	そうですねのによつては脱落っていう評価ものがありますので、破産という言葉を入っているかと思ひます。以上です。

1:18:55	長谷ですとなったときに原燃は入れなくて大丈夫かっていう話に戻ってくるんですけど。
1:19:11	日本原燃のサカモリでございますちょっと御趣旨踏まえてもう一度再精査したいと思います。以上です。
1:19:20	淘汰事実の細かな話ではあるんですけど、せっかく電力の張った入られていて電力から技量に記載を変えようとするときには自分たちの設計がどうい趣旨だったかっていうのも含めて説明現在ほどいただけると、より抜けとかはないかなというふうな気がするんでよろしく願います。
1:19:41	系統たびにですね、次すいませんここを時刻になってしまうんですけど、25ページに行っていたいて、
1:19:48	熱交の基本的な方針で屋外のっていうところがあって、風圧力の話が書いてあるんですけど。
1:19:55	前に聞いたかもしれないんだけど、風圧力に対して位置的分散っていうのが何か意味あるんだったかなっていうのと、あとこれもしくはでつないでるんですけど、文書参り来てるので書くとしたらまたはとかのほうがいいと思いますっていうのは時間的に※とまで
1:20:18	何でコメントも出ていながらも、
1:20:29	42社でございます。少々お待ちください。
1:20:41	規制庁、古作ですけど今のコメントだけだからどう今議事はどうなってるんでしょう。
1:20:49	あたりですね、の方ほうを後ろのほうの、もしくはまた折直してくれというのはコメントで、もう一つ前のやつ圧力に対する位置的分散の話って、すみません、ちょっと自分待つとかでっかで追いついてないかもしれないけど、ここに来てくださった比較みてあるんでしたっけ。
1:21:04	わかりました規制庁蘇武です。わかりました。そういう意味ではちょっとタテウチさん、その後、聞くところとコメントっていうのは、仕分けして、
1:21:12	言っていたけるとありがたいです。
1:21:16	新しいビジネス失礼いたしました。
1:21:18	後ろのほうでやっても勝手に直していただければよくて今お聞きしたいのは、今の壁圧力あの竜巻とかだったら竜巻のツールとして位置的分散で3ヶ所にやっつけばセーフっていうのはわかるんですけど、何かずれてるっていう時に位置的分散っていうのをしたら、風圧力考慮しなくていいとかそういう考え方があるんでしたっけ、粒子です。
1:21:39	日本原燃佐々木でございます個目の従前の大切に関する記載でございます前半の構造強度を実施する部分につきましては常設重大事故等対処設備に括弧Aから記載となつてございまして、コーダの位置的分散につきましては
1:21:56	可搬型設備の保管に関するということで記載をさせていただいております。

1:22:01	そういった意味でもしくはという人記載とさせていただいておりましたが文書については修正をさせていただきたいと思えます。以上です。
1:22:09	規制庁田尻です意図が伝わらなかったのもう一度なんですけど、壁ってというのは、あの場所話したら片方はつかないっていうふうに整理できるんですけど、壁って質問なんですよ、竜巻であるとか火災だったらそれ離れているというふうな関係になるのかっていうのわかるんですけど。
1:22:26	風っていうふうに言ったときに、例えば 100m 離れたら掛けるかないのかって言ったたらそんなこといえる気がなくて、この風圧力に対して位置的分散程度が新たに竜巻による風圧力に対してしてるからその一方向の、要は 3 方向がさして位置的分散してますよっていう時よかったです。
1:22:47	日本原燃佐々木でございます。すいませんの記載が足りていませんでちょっと誤解を与えてしまっていると思えますが、その次のページでございます通り屋外の考え方につきましては固縛といった措置をとっているところも踏まえて合わせた形で記載をしないとちょっと趣旨が、
1:23:05	違ったような形になってしまっていると思えますので
1:23:10	細かい圧力ってというのは一応話したからといって当然変わるものではございませんので、その固縛するといったことを踏まえての位置的分散をしていることによって機能を維持するということでございます記載につきましては適切に修正させていただきます。
1:23:30	ちょっとタジリです。蘇武さんの話と他もあわせてということで書かれるということで理解しました。
1:23:38	規制庁川崎です。ちょっと今の点なんですけど、ちょっと正確に MOX でどうい議論をしたか思い出せないんですけど、再処理のときは確かそのえと保管庫だったりとかそういった場所に置くものと、あと簡易的なところに何か置くものとか何かそういったところの違いも、
1:23:56	と固縛対策としては違いが出さんが出てきているので、そういったところも含めて分散を考えていたような気もするので、MOX の場合それどういうふうに応用されたのかっていうのをちょっといま一度のみ返しておいていただければと思えます。以上です。
1:24:15	はい、日本原燃西原でございます。MOX の形成もちょっと許可の中にさかのぼって、もう一度確認をして適切な記載を展開したいと思いますわな。クローバーの建家内の常設重大事故たい設備で直接的な重大事故の対象自体は終わってしまいますので、
1:24:33	最初と違って屋外で可搬例ということの直接的な対象 2 号館かかわらないので、その辺も踏まえた上でちょっとどういう書き方をしたかっいま一度見て展開をしたいと思えます。以上です。
1:24:48	タジリ率よろしくお願します。次ちょっとばっページが飛んで、右下 33 ページにあるこうなんですけど。

1:24:55	4 設計方針のところでも結構だと思うんですけども、竜巻の影響を想定しても、非常用所内電源系統によるという形で書いていて、前ここでいいのかいろいろ悩ん並べたと思っていて、権力の記載を見ると非常用所内電源、
1:25:11	系統を評定見直し前敷設の理事とか冷却塔とかどうのこうのいろいろ書かれているところなんですけど、これ非常用所内電源系統っていうふうに言えば全部が含まれていると思ってよかったです。
1:25:35	規制庁多点数以降は、6 で書いているときは並列で幾つか書いていたやつを今、非常用電源系統っていうやつ、他の一つで受けようとしてるような気がしたので、ここに全部包含倫理下請けっていう意味です。
1:25:57	少々お待ちください。
1:26:23	タジリです。残りページも少ないですけどさっき言っているの、なんか後でもいいんでわかったら教えてください。所あと続きなんですけど個別の話E-36 ページから入ってるんですけど、ここに関しては明らかに別の言葉のところである程度説明というお話もあったかと思うんですけど。
1:26:43	幾つかだけ確認してたのを基本的方針としての確認という形になるんですけど、富塚 36 ページのところ、
1:26:51	基本的方針で 7 ポツ 9 が書いてあってその次のPRAで竜巻防護対策設備はとかっていうふうに書かれているところで防爆包材または鉄筋コンクリートネットIV. とかそういう話が書かれてるんですけど、ここ仕様表で何が括弧にもよると思ってるんですけど、ここで使用表とところ両方に確認したってこの材。
1:27:10	うんと言えいいのかな。に関して、
1:27:13	日本原燃のサカモリでございます。今はですね仕様表にこういったものが記載されますので、ここは削除する予定でございます。以上です。
1:27:24	タジリ熱の今まで理解はしたんですけど、
1:27:29	今度附属説明一筆閉められるか覚えてないんですけど、そのときにはある程度仕様表の形で今多分文書の形で示していただいたと思うんですけど、全体的な結果もされるかもしれないんですけど、仕様表の形に近いもので示していただきたくて、
1:27:44	そうすると、この基本的方針で抱えていることと、その仕様表で書かれてることは本当に担保する事項というのが差別化できるような気がするの、ちょっと次回津波日付決まったらそこは確認したいんですけど、決まっていますか。
1:28:00	日本原燃のサカモリでございます。外竜巻 16 確か来週の金曜日で強固提示させていただいてるのかなと思っております。先ほどタジリさんがおっしゃった塗装の使用状況も合わせてということをちょっと認識いたしましたので、
1:28:19	そのようにまたちょっと資料作修正していきたいと思えます。
1:28:24	そして、よろしく申し上げます。37 ページとかのところ、文書今帰られてると思うんで、今ここで書かれてる防爆の話以外は補助工法困ったことなんか差別化またよくわからん、昔の規制が気がするの、この辺りも含めて、

1:28:42	今後らしいですかね。そのために実施されるということで理解したんでそのタイミングで原子いただけるようよろしくお願いします。
1:28:50	日本原燃のサカモリでございますが、その前のヒアリングを受けてその辺をちょっと考えているところでございます。また別途外竜巻 16 のときに議論させていただければと思います。以上です。
1:29:03	調達出てよろしく申し上げますでここにイシハラさになっちゃうかもしれないんですけど、前の話なんだけど、内部火災、内部火災かないかん時に共通描けはちょっと個別調書を第 2 章以降ね掛けっていうのを被合併の考え方みたいなので、
1:29:18	内部火災に関しては溢水の共通管理費改定そこを止まっ形だけのやつが後ろのほうに書かれるような話聞いてで外部事象は今みたいに少し表で書いたりとかっていうふうになってたりするんですけど、この辺りの整理って何か進めたりしますか。
1:29:32	はい、日本原燃西原でございます。その整理を進めております基本的にはですね、個別設備の設計として切り離して記載ができるものについては、個別設備個別項目に支障がで説明書の項目を挙げた上で書きます。
1:29:52	ただ火災、
1:29:54	溢水もそうなんですが、溢水防護設備が屋外防護設備としての設計等、要は共通的な火災のその守られる側の設備の設計も含めて、コラボをされているようなものってなかなか切り離しが難しいものがあります。
1:30:12	そういうものにつきましては、今申し上げますを再処理MOXれる違いますし、MOX赤でも、溢水と火災で位置付け書き方が違ったりしますこれ全部統一してですね、
1:30:27	使用表に出てくるような防護設備が登場する条文の基本設計方針については無償個別項目ぐらいですべて額ということで、展開をしたいと思いますそういうJIパターンは二つだと思ってます。切り分けができるものが一緒と西の書き分ける
1:30:46	切り分けが難しいものが 2 章までですべて額ということで整理をしたいということをお考えでございました。以上です。
1:30:55	以上です。今の状況は理解しました若干別紙 1 を確認していく中で不安だったのが一章分後に小ばり囲むのあと仕様表で、今日日や意見延ばせる形でどうしても、とかの過去の許可とか通って同士の比較する形になるので、
1:31:14	結局今日設計方針パッケージでは 1 回申請のときにどういうふうに表示されるのかっていうのが少し見づらいときがあってもう結局しようがおわかりだったら、36 ページで第 2 条で抱えてるからこれでわかるんですけど、どこがどう意識してみないと、結局どうなるんだっけっていうふう到最后になりかねない気がしているので、

1:31:33	少しずつ基本的方針が固まり始めてるかなと思うので、どこかの形で連番で連番っていう変化の一連の流れとしてどういう形で示されるのかっての見ればなと思ってるのでよろしくお願いします。
1:31:44	はい、日本にイシハラでございますはい、この赤い別紙1の頭での°の小児科かというのがわかるようにすることと、あと別紙6が出るものにつきましては別紙6の中で例えば火災ですと、
1:32:01	一生側の共通項目は2章の7ポツを見るということで書いてたりとかでそういうところも含めて別紙6の中では展開をさせていただくようにしてございますので、そういう意味で一章と2処分関係は別紙6も含めてみると、
1:32:16	ご確認いただけるようになるのかなと思っておりました。以上でございます。
1:32:21	規制庁コサクです。先ほどイシハラさんが火災溢水等は設備の設計方針についてすべて2章でと言われたんですけど。
1:32:35	詳細のところはすべて2章でも構わないんですけど、骨格は第1章にないと。
1:32:42	特に
1:32:44	防護設計が後ろで
1:32:49	守られる人たちについては申請対象だったりした場合に、第1章側で守りまして言ってくれてないのに、その設備は守られるものですよっていうふうな認可をするのはあり得ないので、
1:33:04	大庄側でその基準対応の抜けがあるっていうのは困るんですね。
1:33:10	なので、第2章で1基本。
1:33:14	整理をするのであれば、その骨格をどう大庄側でうまく書くかっていうことは検討いただきたいと思うんですけど。
1:33:23	そういう意識ではいらっしゃいますか。
1:33:26	すいません、日本原燃西原でございます。すいません私が先ほど申し上げた前提からいきますと、中途半端にウノの考え方はバックってしましまして、ROVは別表2の中で火災防護施設設備の溢水浸水防護設備という別表2の中で、
1:33:43	工事計画の中のいわゆる仕様表要件に関する項目プラス基本設計方針の確認だということで法令上定めがあったので、すべて個別項目側防護設備の中で共通の基本設計方針を展開されてました。
1:33:59	それぞれをそのままいただくかなと思ってはいたんですけど我々法令上もそんなに勤務製品もないので、そういう意味では今コサクさんがおっしゃったような整理をしないといけないですね。はい、そこも含めて考えさせていただきます。以上です。
1:34:17	はい、規制庁不足ですよろしくお願いします。特に炉の場合は分割でありやっていないというようなこともあってですね、それぞれに書いてあれば全体として読めるっていうことはあったと思うんですけど、今回非常に難しいところになっているので、

1:34:34	その分割を
1:34:37	許容できる。
1:34:39	工夫をしてるのが今回の基本設計方針の共通部分っていうことだと思ってますから、ぜひその意識を持ってまとめてください。よろしくお願いします。
1:34:49	はい、日本で車両がございます。
1:34:52	検討させていただきます。
1:34:55	系統あたりで進めて自分の机は甘くてすいません今の認識はかなり近くて、チェック法人全部立った上で、先ほどの使用方法離隔なものはウノにこういう事象飛行機話だけだよあの防護対策設備をこういう構成にしますよとか、それとも具体の指標に使うって、
1:35:13	近い文言だけ事象のほうに行くイメージかなという気がしてそれだけの言葉を受け取っていたのでちょっとその辺言葉じりだけやったって認識と言ってきてないかもしれないので、こちらの本会の倍以上の竜巻とかになるとはちょっとわかりやすい例になっちゃうのもうちょっと複雑なパターンの内鉄塔火災海水
1:35:33	100 ですかね、そういったところに関して少しレジン一遍ので早めに示してもらえてるやすいかなと思ってよろしくお願いします。
1:35:40	はい、日本原燃者でございます。家裁みんな通りにして、第 1 回で、そういうのも出てきますんで、そういうのも含めて整理をさせていただきます。
1:35:51	規制庁コサクです。別紙一通りだと思うんでちょっと 1 ページの戻っちゃって申し訳ないんですけど、7 ページ。
1:35:59	見ていただいて、
1:36:03	先ほど重大事項のところはそっちの関係での保安規定でここで書くんですかっていう話がありましたけど、
1:36:11	7 ページの
1:36:14	閉設工認申請書基本設計方針でハッチングなり色がついていない。
1:36:22	ところに、DBの世界で安重じゃないものに対して云々という話がある中で安全上支障のない期間での修理を行うこととかっていうところに
1:36:39	ある程度運用の話が入ってるんですけど。
1:36:42	ここはどう考えてますか。
1:36:50	はい。
1:36:51	日本原燃者でございます。
1:36:53	はい、私が危惧していただこうということに指摘されましたのはい
1:37:00	やっぱりそこも含めて整理が必要だという認識でおります。はい、まだ頭の中で十分整理ができてないので、こちらを組み合わせかつ修理の期間も含めています機能損なわない恐れがそれがない設計とするいわゆる運用にかかる部分も入ってって、
1:37:18	運用にかかる分は種類書いているということもありますのでそこも含めてちょっとどこに書くのかの整理は引き続きさせていただきたいと思います。

1:37:29	はい、規制庁補足です。何でここ思い出したかっていうと、先ほどのSAのその部分は最後じゃなくてここに書くんだという理由。
1:37:40	なるほどなと思ってたときにでもそれってDBでもあったようなと思ってみたので、先ほどのお話の通りであればSAと同じようにその場所を書くっていうこと。
1:37:52	だと思いますけど、そのときにそれでいいんだよねっていう考え方が整合していればいいと思いますのでよろしくをお願いします。
1:38:01	はい、日本で知られてございますが、引き続き整理をさせていただきます。
1:38:10	淘汰PDS別紙じゃ当然ただけ場所どこって話じゃないといった確認したいんですけど、はたまた心からとわかりですけど決定じゃないほうの工程停止であると思うんですけど、家だったら警報が出たら結構あったと思うんですけど。
1:38:26	そしてそういう長かったりはテセックと記憶が定かでなくて、
1:38:31	バーツ竜巻警報がきたらきちんと努めますよとかの運用ってありましたっけ。
1:38:37	日本原燃のフルカワです。竜巻ではそのような内容がございません。以上です。
1:38:44	規制庁たケースすべて地内火山のほうに計装用で書くんでしたっけ、何か先ほどの比較表等非常ベルの方も見たんですけど、そこはどこに入ってあるかっていうのはあんまりちょっと悪しきいなかったんですけど、それから担当医なかったら調べていくんで大丈夫です。
1:38:59	今おられますか。
1:39:01	ちょっといろいろ今おることなんですけども共通的な整理をまずさせていただきたいと思います強化から持っていくべきの展開の仕方が抜けがないかどうかも含めてもう一度伺いたいと思います。現状比較表作ってる中ではなかったと思いますので、
1:39:18	それがなくていいかも含めていろんな一度整理をさせていただきます。
1:39:24	すみません、日本のトクナガです。少しMOXのほうについては、この土地からの工程停止の話前提に竜巻のところは会計課というところがあって、今現状かってない。
1:39:37	4、
1:39:41	すみません現状今書いてないところがありますので、そこ設計上必要な情報かどうかというところを精査してあった手続きを検討したいというふうになってるところです。以上です。
1:39:55	ゼンショータジリです。ちょっと許可のときの議論も含めてもう1回どっかで確認できればと思うんですけどもくださって最初に書いてない点は何か違和感はれちゃうような気もするので、ちょっとその辺りも許可ときどこまで説明してたか含めてどこかで確認させていただければと思います。

1:40:10	はい、日本原燃西原でございますはい、整理をさせていただきます。ただ許可段階ですね。木製については粉末は使っていて何らか安全機能を確保する上で厳しい状態になったときには工程止めるというのは工程を止めて中に入っている粉末を全部貯蔵
1:40:30	ここに入れて、かつへのもっとひどい的にも関係したら止めるということを前提に頭でうたってました、そういったのポテンシャルを下げるができるようなプラントであるということを宣言してましたが、再処理がどうしても高レベル廃液がタンクに入っていたり換気設備を止めるってということまでも含めて、
1:40:48	やったとしてもポテンシャルはどうしても残るところがあって、そこは協会何回でも記載に差があるとトレンプラントの特徴を踏まえた記載でそれぞれ会期板とってますので、そういう県の記載の差はそのまま設工認がでも受け取るのかなと思ってたところでございます。以上です。
1:41:08	以上タジリス社ご支援ご指摘アプリですね、止めても危ない再処理と止めればアンテナ加工施設でばっか言ってた部分がちょっと変わるだけが少し自身が長くて、ちょっとその部分だけは確かに竜巻とかに関して板とめて求めてなくても、冷却をかさなきやいけないということが変わんないからあんまり影響ないような気もしてきたので、
1:41:26	アイネス社の許可のときの中に特に火山明日の部分になると思うんだしたわけなんかは確認できる出してまで確認していただいてそういった話できればと思うんでよろしくをお願いします。
1:41:36	日本原燃西原でございますはい、承知いたしました。
1:41:41	議長タジリですって、別紙 23 というのはちょっと今後のスケジュールのことで、今日だってだけを何かスケジュールかなんかで、今後の共通でルート絡みの話が示されていってそこで設備点検とかないと確認していく形になると思うんですけど。
1:41:56	やっぱりタイプとカミデハヤカワとするスケジュールだったような気もするんですけど。
1:42:01	何か今後ってどういうタイミングで何が示される予定でしたっけ。
1:42:07	はい、日本原燃シェアでございますこちらの別紙シリーズは、今のご指摘あと共通も含めた展開が必要ですのでいま一度スケジュール管理については見直しを含めて考える必要があると思っております。ただ突風復旧関係の設備救出と別紙 2 のひもづけも含めて、
1:42:27	ただ、資料になりますが、こちらについては確かに最初以外の資料の提出タイミングがですね、
1:42:37	今日以外に、14 日までの部分があったと思っておりますので、
1:42:45	そこはそうですね安全冷却水系が
1:42:51	そういつ頃、
1:42:54	できない。

1:42:56	そこも含めて全体をもう1回確認したスタートと御回答できるようにします六、七日やっと事業化という切り分けて今日ですものも、すみません、本当は蒸気系以外のものが出るはずだったのか、最後、
1:43:11	間に合わなかったところもあったのでその実態の今の状況も踏まえて明日、今後のスケジュール感を御説明できるようにしたいと思います。以上です。
1:43:21	議長タジリでして自分が企画できなかつたら申し訳ないんですけどいずれにせよ、ここの別紙2の方に関しては最終的にひもづけところまで確認しないと終わらないような気もして一定で火災かなんかでも言ったんですけどずっとどうしても別に審査は継続してみなきゃいけないところは他のやつが固まるまであるかなというふうに
1:43:41	思っていて特に今回別紙1も所々修正特に統一的な表現の統一とかで修正されることできてると思うんでそれやると多分結局また別紙にも関わっているじゃないかというところが出てきてしまうと思っているので、その点も含めて目指せ整理できたというふうな確認できればと思うんでよろしくお願いします。
1:43:58	規制庁側から活気が出る市立に関して何かコメント等ありますか、ほかに。
1:44:14	延長立てです。
1:44:16	今日の議題木製に関しては基本の再処理と同様に対応いただければと思っているので、個別には有とは思っていないんですけど、原燃かわからないか確認してきた意見等ありますか。なければ要は今日の指摘のフリート困るスケジュールについて説明いただきたいんですけど。
1:44:31	日本原燃のフルカワです。市長へと33ページについての御回答できていませんでしたので回答させていただきたいと思います。
1:44:41	竜巻の随件事象のうち外部電源喪失についてですが、非常用所内電源システムによる電源供給を可能とすることで、基本設計方針に書かせていただいております、この商用所内電源システムによる電源供給を可能にするためには非常用所内電源システムや
1:44:59	冷却塔の機能維持することが必要になりますので、添付書類に記載した内容と同様の記載をしております。以上です。
1:45:09	規制庁たび回数設備を撤去するんじゃなくて目的を書くことによって当然そこに付随する設備というのがぶら下がる形になったんですよっていう説明取り返して理解しました。
1:45:23	影響度ですね、江藤ほかに何かなければ振り返りとスケジュールについてお願いしたいんですけど。
1:45:35	はい。日本原燃エビナです。特にございませんので本日の振替議等でスケジュールのほうについてお話しさせていただきます。まず本日いろいろコメントいただいたんですが、

1:45:50	大きなところで言いますと、横並びがですね解消の事象ごとにとれてないっていうところがのご指摘が結構ございました。営巣横並びのとれてない箇所についてなんでそれでよいのかという説明であったり、
1:46:08	あとは本日イシハラのほうから説明させていただいた表のほうを使って横並びの整理を今後もとっていくというふうなところだったかと思われます。あとは
1:46:25	FFを通す。
1:46:27	すいません。設計事象と衛星の描きあき方の話ですね、こちらもええと共通の方からの、また横低下が必要であるというふうな話もあったとごさい思っております。
1:46:43	あとは
1:46:47	はい。すいません。後ですね散歩国産の部分の共通部分のところで検体の構成についての説明があるべきだということで、その記載を見直すということになったと思っております。
1:47:03	あと、個別のほうでは
1:47:08	ですね、重大事故のほうで科学力に対して位置的分散の記載が適切かというところで、工夫のその対策の違いも含めて整理するということになったと思っております。
1:47:24	あとは、これもまた一つ大きなところですが、基本設計方針のところ、
1:47:30	名第2章の設計方針のところ、使用表との書き分けですね、う設計方針と使用表の部分っていうのはセットなので、今回のこの竜巻のところと言いますと、
1:47:45	とそ竜巻も補足説明資料の中でそちらを整理して扱うということになってございますとはそれに付随して全体の構成としてその一章と2章の値扱いというのを、
1:48:00	再整理ということで、おっきなところではそういったコメントがあったというふうに認識してございます。以上です。
1:48:11	影響度を
1:48:14	件目がですね、スケジュールの話があったと思うんですけど、スケジュールについてはですねちょっと今後の説明の戦略とも絡むところがあると思うのでちょっといま一度整理した上でですねまた御説明させていただければと思います。
1:48:30	以上です。
1:48:32	淘汰便数大きく2点で1点はないとわからないじゃないんで省略されたんだと思うんですけど、一応なんかを期待も見ながら北の方病棟拡充と諮った方がいいところっていうのはちょっと検討してください。できれば1検討スケジュールに関しては明日今後モデル化の話とかでフィルハーモニー持たしておけるのでもし明日話せるようであればそのタイミングで、

1:48:52	少し触れていただけると込ま計画なりやすいかなと思うんでよろしくお願ひしますと規制庁側からほかに何かありますか。
1:49:04	すいません日本原燃のエビナですけども、最後にかっちりさんのほうからおっしゃっていただいた実用炉の総務の見ながらというのは、今まで、今度最初実用炉のほうにより済で今度許可のほうに寄り過ぎたんですけど。
1:49:21	またとかの記載をわかりやすくするようなものであれば、実用炉のものを参考にしながら、修正してもよいというふうなお話があったかと思ひますけどそちらの内容でよろしいかったですでしょうか。
1:49:35	町タジリです。なんか周辺に伝わるというかなり筐体おくと、16 ページとかのところで設置場所とか障害物の話であるとか設計方針としてうたっておかないと後々原電が損傷してお話を必要が書いてるところがあったりすると思うんで。
1:49:50	余りにも今までの現状の設計方針から離れてるやつ勝手にはねられたら困るんですけど、今までも言っているような話であるならば設計方針としてうたっておいたほうがこの後の説明とかもしやすいんじゃないかっていうので必要なやつを見ながら検討してくださいと言っただけです。
1:50:05	系統 40 年エビナです。気づかいどうもありがとうございます。
1:50:12	規制庁タチエスほかになさそうであればシミズさんに一度もう防止すればいいですかね。
1:50:19	Hを示さないどうすんで本日のヒアリングを終了したいと思ひますので、本町会議室の方で録音の停止をお願いします。